



神奈川県
川崎図書館

令和4年度

要覧



ものづくり情報ライブラリー

神奈川県立川崎図書館

基 本 理 念

神奈川県立の図書館は

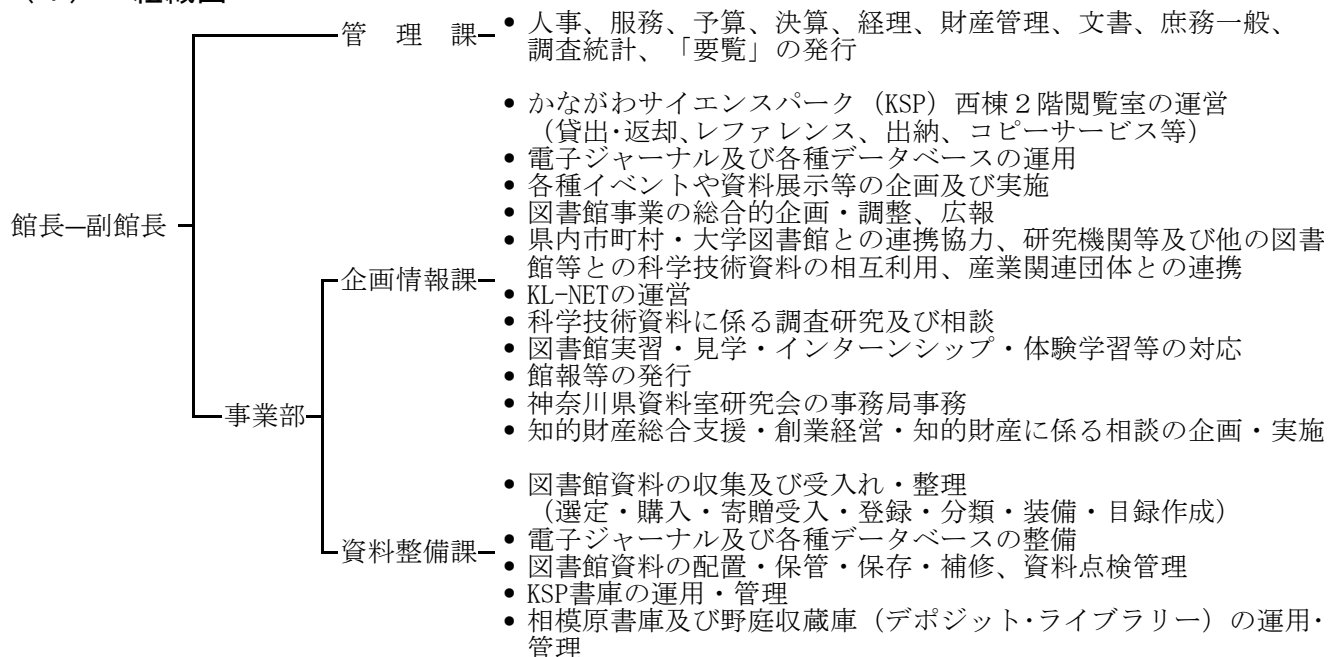
「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、
神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

目 次

1	組 織	1
2	沿 革	2
3	施設の概要	4
4	令和4年度 県立川崎図書館の取組み	6
5	令和3年度 県立川崎図書館の活動評価	10
6	令和4年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画	15
7	予算・決算	16
8	令和3年度 事業の概況	17
9	令和3年度 講座等実施状況	30
事 業 統 計 (令和3年度)		
第 1 表	部門別蔵書冊数	35
第 2 表	逐次刊行物保有状況	35
第 3 表	電子ジャーナル等資料の保有状況	35
第 4 表	開館日数・入館者数	36
第 5 表	レファレンス件数	36
第 6 表	書庫内資料の利用数	37
第 7 表	電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数	38
第 8 表	個人貸出登録者数	38
第 9 表	個人貸出冊数	39
第 10 表	リクエストサービス	39
第 11 表	複写サービス	40
第 12 表	講習会・講座・講演会等	40
第 13 表	知的財産関連等相談	41
第 14 表	視聴覚資料の貸出状況	42
第 15 表	他の図書館等への貸出状況	42
第 16 表	年度別蔵書冊数	43
第 17 表	年度別入館者数・個人貸出冊数	43
館 内 案 内 図		44

1 組織 (令和4年4月1日現在)

(1) 組織図



(2) 職員の構成

区分	館長	副館長	部長	課長	副主幹	主査	主任主事	主任司書	主事	司書	小計	臨時司書	任用職員	会計年度	合計	備考
館長・副館長	1	1									2				2	
管理課				*	1		1		2		4		4		8	*副館長が管理課長職を兼務
事業部			1	1		1		1		4	8	2	14		24	部長を含む
					1	1	1				3	2	7		12	
部 計			1	2	1	2		1		4	11	4	21		36	
合 計	1	1	1	2	2	2	1	1	2	4	17	4	25		46	
司書有資格者数			1	2	1	2		1		4	11	4	21		36	

2 沿革

昭和	33	年	11	月	1	日	神奈川県立図書館条例（昭和33年条例第32号）をもって設置 （所在地：川崎市川崎区富士見2-1-4）
			同				神奈川県立図書館組織規則（昭和29年教委規則第8号）改正により2課3係制
			同	12	月	20	落成開館式を挙行
昭和	34	年	1	月	12	日	開館し、館内閲覧業務を開始
			同	3	月	20	附属機関の設置に関する条例（昭和28年条例第5号）に基づき、神奈川県立川崎図書館協議会を設置
			同	5	月	15	商工資料室開室、工業所有権公報類の公開閲覧業務を開始
昭和	35	年	1	月	13	日	社会人に図書の館外個人貸出しを開始
			同	4	月	20	小中学生を対象に図書の館外個人貸出しを開始
			同	7	月	1	図書資料の複写サービスを開始
昭和	36	年	4	月	16	日	視聴覚資料の貸出し、また図書の工場等団体並びに大学生の館外個人貸出しを開始
昭和	39	年	5	月	1	日	自動車による工場巡回文庫を設け、工場、事業所の従業員に対し、配本を開始
昭和	40	年	9	月	1	日	高校生に図書の館外個人貸出しを開始
昭和	42	年	1	月	16	日	書庫を増築、川崎市から取得
昭和	44	年	7	月	16	日	神奈川県立図書館組織規則改正により2課4係制
昭和	45	年	8	月	18	日	移動図書館車による青雲文庫を設け、工場、事業所の寮に住む勤労青少年に対し、配本を開始
昭和	46	年	2	月	25	日	特許庁により公開公報閲覧所に指定
			同	6	月	2	神奈川県立図書館組織規則改正により3課7係制
			同	7	月	1	理工学文庫を設け、他の公共図書館に対し、理工学関係図書の配本を開始
昭和	47	年	8	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則（昭和47年教委規則第13号）が施行され3部7課制
昭和	49	年	8	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により3部8課制
昭和	53	年	11	月	17	日	開館20周年記念「図書館まつり」開催（19日まで）
昭和	55	年	4	月	1	日	図書館協力車事業本格運行を開始
昭和	57	年	12	月	16	日	1階改修工事により障がい者施設の整備と科学技術資料室の充実等を実施
昭和	58	年	4	月	1	日	神奈川県科学技術文献相互利用を開始
昭和	59	年	3	月	31	日	工場巡回自動車文庫（工場巡回文庫、青雲文庫）を廃止
			同	4	月	1	神奈川県立図書館組織規則（昭和59年教委規則第4号）が施行され3部8課制
			同	12	月	1	国立国会図書館データベースオンラインによる検索サービス業務開始
昭和	60	年	4	月	1	日	附属機関の設置に関する条例改正により、県立川崎図書館協議会と県立図書館協議会が統合され、神奈川県図書館協議会を設置。ファクシミリサービスを開始
			同	9	月	19	改修工事（空気調和設備全面更新、その他改修）のため休館
昭和	61	年	4	月	19	日	改修工事完了のため開館（60年9月27日～61年3月23日仮設図書館開設）
平成	元	年	2	月	15	日	開館30周年記念式典を挙行
平成	2	年	4	月	24	日	県立図書館において神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）一部稼働
平成	3	年	4	月	16	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）全面稼働
平成	4	年	3	月	31	日	団体貸出しを廃止
平成	5	年	1	月	21	日	特許検索用CD-ROMを導入
			同	3	月	31	理工学文庫を廃止
平成	8	年	9	月	17	日	特許庁の特許公報類閲覧所の指定が解除され、知的所有権センター支部として認定
平成	10	年	1	月	7	日	リニューアル工事のため、全館休館（4月15日まで）
			同	4	月	1	神奈川県立図書館組織規則改正により、3部7課制。リニューアルオープン
平成	12	年	3	月	1	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）を更新
平成	13	年	4	月	1	日	附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県図書館協議会を廃止し、それに代わる意見聴取のための図書館アドバイザー会議を設置。祝日開館を開始
			同	6	月	5	ITコーナー（インターネット一般公開）開設
平成	14	年	4	月	1	日	図書館アドバイザー会議を廃止し図書館アドバイザーレクチャー制度の導入
平成	16	年	4	月	15	日	生涯学習文化財課収蔵センターに科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリーを開設
平成	17	年	4	月	15	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）を更新
			同	10	月	1	ビジネス支援室（1階）を開設

平成	18	年	4	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により2部6課制
			同				やさしい科学コーナー・おすすめ本コーナー（1階）、化学文献室（地下1階）を開設
			同		9	月 19	日 生態学コーナー（1階）を開設
平成	19	年	10	月	12	日	ビジネス情報クイックコーナー（1階）を開設
平成	20	年	9	月	12	日	サイエンス・ナウ（Science Now!）コーナー開設
			同		11	月 13	日 開館50周年記念式典を挙げる
平成	21	年	3	月	31	日	生態学コーナー（1階）を廃止
平成	22	年	4	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により1部4課制
平成	24	年	3	月	31	日	知的所有権センター認定要領廃止（名称は継続使用）
			同				ビジネス情報クイックコーナー（1階）を廃止
平成	26	年	6	月	25	日	「社史フェア2014」を初開催（27日まで）
平成	27	年	9	月	11	日	社史コレクションがテレビ番組「タモリ倶楽部」（テレビ朝日系列）で放映
平成	29	年	10	月	1	日	かながわサイエンスパーク（KSP、川崎市高津区坂戸3-2-1）への移転準備のため一部休館（1階ビジネス支援室の供用休止、貸出・予約・リクエスト等休止）
			同		11	月 22	日 入館者数1,000万人を達成
			同		12	月 1	日 KSPへの移転準備のため平成30年5月14日まで全面休館
平成	30	年	4	月	1	日	KSPに移転
			同				神奈川県立図書館組織規則改正により1部3課制
			同		5	月 14	日 移転再開館記念式典を挙げる
			同		5	月 15	日 「ものづくり情報ライブラリー」として再開館
			同				公共図書館として初めて、海外の電子ジャーナル・データベース（IEEE、Scopus）を導入
令和	元	年	11	月	21	日	開館60周年記念講演会を開催
令和	2	年	3	月	4	日	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため一部サービス（閲覧室の利用、資料の閲覧等の利用）の休止
令和	2	年	4	月	12	日	特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針を踏まえ臨時休館
令和	2	年	5	月	27	日	国における緊急事態宣言解除に伴い、仮設カウンターを設置し予約貸出及び返却のサービスを再開
令和	2	年	6	月	9	日	県立の図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドラインに基づき、閲覧室の座席削減や入場制限などの拡大予防策を講じた上で閲覧サービスを再開
令和	3	年	1	月	12	日	国の緊急事態宣言を受けた「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」に基づき、平日の開館時間を午前9時30分から午後7時までに変更
令和	3	年	3	月	22	日	国における緊急事態宣言解除に伴い、平日の開館時間を午前9時30分から午後7時30分までに変更
令和	3	年	12	月	27	日	令和4年3月28日までの期間限定で、令和2年に刊行された200点の社史を展示する「社史フェア2021」をオンラインで開催
令和	4	年	3	月	31	日	「神奈川県知的所有権センター支部」の名称を廃止

3 施設の概要

(1) 建物

名 称	使用開始年月日	延床面積	所 在 地
かながわサイエンスパーク 西棟	平成29年10月1日	1,308.000m ²	川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 かながわサイエンスパーク (KSP)
かながわサイエンスパーク R&D棟	平成29年10月1日	1,182.710m ²	同上
相模原書庫	平成30年2月1日	130.305m ²	相模原市南区当麻2650-22
野庭收藏庫	平成15年4月1日	1,491.840m ²	横浜市港南区野庭町1660
合 計	—	4,112.855m ²	—

(2) 建物の内訳

ア かながわサイエンスパーク (KSP)

(ア) 西棟 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造

(イ) R&D棟 同上

イ 相模原書庫 鉄筋コンクリート造

ウ 野庭收藏庫 同上

(3) 西棟

ア 施設 2階 閲覧室、ディスカッションルーム、知財スポット
カンファレンスルーム、コンサルティングルーム
合計座席数140席

イ 収蔵資料 (令和4年4月1日現在)

図 書 約 65,000冊
雑 誌 (専門雑誌最新号) 約 1,000タイトル

(4) R&D棟

ア 施設 2階 事務室、書庫A、書庫B

イ 収蔵資料 (令和4年4月1日現在)

図 書 約 29,000冊
雑 誌 (上記(3)イの雑誌タイトル数を含む) 洋 394タイトル
和 5,591タイトル

(5) 相模原書庫 (外部書庫)

ア 施設 4階 アーカイブセンター内

イ 収蔵資料 (令和4年4月1日現在)

図 書 約 133,000冊

(6) 野庭収蔵庫（デポジット・ライブラリー）

ア 施設

北棟 3階	事務室 書庫（雑誌）
北棟 4階	書庫（図書・雑誌）
南棟 4階	書庫（雑誌）
計22室	

イ 収蔵資料（令和4年4月1日現在）

図	書	約	32,000冊
雑	誌	洋	1,798タイトル
		和	279タイトル

4 令和4年度 県立川崎図書館の取組み

(1) 県立の図書館の基本理念

神奈川県立の図書館は、「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与する。

(2) 県立川崎図書館運営方針

ア 基本方針(令和4(2022)年度～令和7(2025)年度)

「ものづくり技術」を支える機能に特化した専門的図書館として利用者のニーズに応えるとともに、SDGs の理念を踏まえ、人生 100 歳時代に向け、県民一人ひとりの生涯にわたる「学び」や社会参加等を支援することを目的とし、次の基本方針を定める。

- (ア) 県立図書館との機能及びサービスの分担のもと、共に補完しあいながら県立の図書館として一体的な運用を行う。
- (イ) 科学技術の最新動向を踏まえて資料・情報を収集・保存・提供し、県民に役立つ図書館サービスを展開して有用な「知の拠点」を築き、「調査研究活動」を支援する図書館サービスを展開して「価値創造」に結びつける。
- (ウ) 「ものづくり技術」の高度化や、技術開発のバックアップという県民のニーズに応えるため、ものづくり技術関連資料の収集を一層強化し、電子ジャーナル等による情報から専門書、知的財産・規格資料まで、「ものづくり技術」を「学び、活かし、拓く」資料等の収集、提供を積極的に行う。
- (エ) 県内産業関係団体、県内産業技術教育機関、県内試験研究機関、市町村図書館・大学図書館・高校図書館と密接な連携を図って、知的財産等に係る支援、相互の周知啓発活動、資料の相互貸借や図書館職員の人材育成などに努め、県域全体を支える図書館としての機能を充実させる。
- (オ) 所蔵資料を活用した館内展示や各種講演会、講座、子ども向けの実験教室、ものづくり支援相談などを企画・開催し、県立の図書館ホームページを始めとする様々なメディアを活用した発信に努め、人々の知的好奇心に応える多彩で魅力的な「知の機会」を提供する。
- (カ) 生涯を通じた学びと研究を可能にするために必要な資料、情報を、適切かつ快適な環境で提供するとともに、利用者が ICT（情報通信技術）を活用できるよう、機会をとらえ県民の情報リテラシー向上を支援する。

また、「知の機会の提供」に加えて「研究成果の活用」の支援拠点としての機能を果たすことに力を注ぎ、人生 100 歳時代の「人づくり・社会づくり」に寄与する。

- (キ) 図書館の利用に障がいのある方に配慮し、図書館の設備、資料、情報をより利用しやすくなるよう、個々の状況に応じ、工夫してサービスの提供を進める。
- (ク) 図書館活動について常に「P<計画>→D<実施>→C<点検(評価)>→A<見直し>」のサイクルで業務の見直しを図り、図書館経営の持続的な改善を行う。また、県民からの意見・要望を真摯に受け止め、「開かれた図書館」としての運営を行う。

イ 令和4年度 重点的取組み

(ア) 「新しい生活様式」における円滑な図書館運営の実現

来館者が新型コロナウイルス感染症に感染しないよう万全の対策を講じながら、基本方針に基づき、県立川崎図書館の魅力や役割等を実現するためサービスを円滑に提供できるように努める。

(イ) デジタル化の推進

新たに電子書籍を導入するとともに、既に導入している電子ジャーナルと併せ周知に努め、利用促進を図る。

(ウ) 県内産業団体等との連携の強化

「ものづくり技術」の支援を促進していくため、県内産業団体・企業や産業技術の教育機関、県内試験研究機関等との連携の強化に努める。

(エ) 特許・規格・社史の収集強化

「ものづくり技術」を支える資料としての特許・規格を含む科学技術資料群を充実するとともに、全国有数のコレクションである社史の収集・整備を進める。

(オ) 資料利活用のための保存機能の強化

貴重な収蔵資料を確実に将来に引き継ぐとともに、現在から将来にわたる利活用を保障するため、資料の保存対策を検討、実施する。

(カ) 行政支援サービス

神奈川の地域課題の解決や未来の社会づくりに貢献し、行政実務の遂行を支援するため、特に県内試験研究機関や高校図書館へ資料提供やレファレンスによる情報提供を行う。

(キ) レファレンスサービス

レファレンスツールとなる資料の集積や、職員による電子ジャーナル等の活用を図る。併せて、様々な機会を利用して職員のレファレンス能力の向上に努める。また、サービスの内容やその成果についての広報を強化し、「国立国会図書館レファレンス協同データベース」への事例提供を引き続き進める。

(ク) 県民の「学び直し」を応援

人生 100 歳時代に向け、図書館が生涯を通じた「学び」と探求のきっかけづくりや県民の「学び直し」を支援するため、「大人の理科教室」などの講座を開催する。

(ケ) 図書館の利用に障がいのある方へのサービス

全ての方が利用しやすい施設であるように、館内の案内サイン、外国語の利用案内などの整備に努めるとともに、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の基本的な考え方にに基づきサービスの向上を目指す。

(コ) 図書館専門職員の人材育成

県域全体で質の高い図書館サービスを提供するため、市町村立図書館、県立学校図書館、専門図書館等の職員の能力開発や人材育成支援について、関係機関との連携の下に積極的に取り組むとともに、経験者選考で採用された職員のノウハウも業務運営に反映するよう努めていく。

(サ) 各事業の着実な実施及び広報・情報発信の強化

新たな利用者層を掘り起こすための PR メディアとして、ポスター、チラシ、ホームページ等を活用する。また、自館作成の刊行物や県の広報媒体など、各種のメディアを使って情報発信に努める。

ウ 図書館活動の数値目標

令和4年度は、次の数値目標を達成することを目指す。

(ア) 社会教育施設評価書の全館共通評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
利用状況	①利用者満足度	98.0%	利用者にアンケートを行い、満足度を調査
	②入館者	90,000人	年間入館者数
	③教育・普及事業への参加者	1,400人	研修、講座や知的財産相談等の参加者数
	④インターネットアクセス (両県立図書館共通)	1,210,000件	ホームページのアクセス件数
資料・収蔵品	⑤活用	2,000点	展示または各種メディア等で紹介した資料点数
	⑥維持管理	資料の棄損を防止する。	書き込み、切り取りや汚破損など資料の棄損件数を減少させる(記述項目)。
調査研究	⑦研究成果の公開	40件	職員の日ごろの研究活動及び研究成果に関する文献等の執筆件数、研修会及び研究集会での発表件数
情報発信	⑧事業情報の発信	300件	定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数
施設運営等	⑨観覧料及び事業等収入(図書館は除く)	—	—
	⑩施設点検	図書館利用に障がいのある方に配慮する。	だれもが等しく利用できる図書館を目指す(記述項目)。
	⑪自己研鑽及び他館の研究	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上	スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数(記述項目)

(イ) 川崎図書館の個別評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
資料収集・ 整備	①社史等の収集	553件	社史と逐次刊行物の新規寄贈数
	②破損等資料の修理件数	100.0%	書き込み、切り取りや汚破損などを発見した資料のうち修理したものの割合
資料・ 情報の提供	③レファレンスサービス	4,100件	カウンターでの口頭、電話、メール、文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む)
	④貸出数	27,000冊	個人利用者への貸出冊数
	⑤書庫内資料利用数	34,000冊	書庫の資料を提供した冊数
	⑥複写枚数	125,000枚	コイン式コピー、電子ジャーナル等のプリントアウト、郵送複写等
非来館型 サービス	⑦電子書籍の提供 (両県立図書館共通)	4,300件	電子書籍の閲覧件数
連携・ 協力事業	⑧行政支援サービス	570件	県機関、県試験研究機関や高校図書館等への資料提供件数
	⑨県内市町村図書館等への貸出冊数	6,500冊	県内市町村図書館等への資料提供冊数
	⑩県外図書館等への貸出冊数	360冊	県外図書館等への資料提供冊数
広報・ 普及活動	⑪テーマによる資料展示回数	90回	テーマによる資料展示を行った回数
	⑫視察・見学会等実施件数	60件	視察や見学会、職業体験、インターンシップを受け入れた件数
	⑬各団体・機関への広報実施件数	50件	産業団体や外部機関等へ出向くなど川崎図書館を広報した、あるいは該当団体・機関の持つ広報手段を活用した広報件数
図書館運営 の条件整備	⑭自己研鑽及び他館の研究	390人	スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数

5 令和3年度 県立川崎図書館の活動評価

令和3年度の活動評価は、次のような結果となった。

※評価基準（達成度）は以下の通りである。（小数点以下第2位を切り捨て）

達成（目標値 \geq 100%） ○

ほぼ達成（目標値 \geq 80%） △

未達（目標値 $<$ 80%） ×

（1）社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分11項目 当館は10項目）

【利用状況】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
①利用者満足度	98.0%	96.6%	98.5%	△
《課題・対応の方向》 ・「県立川崎図書館に関するアンケート」（10/18～10/23）から算出した。「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人／回答者合計の人数比。 ・利用者に満足いただける図書館サービスの提供に努める。				
②入館者	90,000人	70,416人	78.2%	×
《課題・対応の方向》 ・「新しい生活様式」における来館サービスの在り方を検討していく。				
③教育・普及事業への参加者	1,400人	490人	35.0%	×
《課題・対応の方向》 ・コロナ禍の対応として、講演会、イベント等については、中止、人数制限や予約制での実施などの対応をとった。「新しい生活様式」における適切な実施を推進していく。				
④インターネットアクセス	1,200,000件	1,200,800件	100.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、レスポンスデザインに対応し新しくなったホームページを活かす魅力的なコンテンツを作成し、適宜更新していく。				

【資料・収蔵品】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑤活用 （展示または各種メディア等で紹介した資料点数）	1,200点	1,984点	165.3%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、図書館の利用促進につながるような展示の企画、実施に努めるとともにホームページ等での資料紹介等を積極的に行う。				

⑥維持管理	資料の棄損を防止する。	資料の棄損防止に努めた。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、職員・利用者による資料棄損の予防に取り組んでいく。				

【調査研究】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦研究成果の公開 (発表・印刷物等)	40件	21件	52.5%	×
《課題・対応の方向》 ・職員の研究活動や文献執筆や講師などによる発表の機会を確実に捉えるように努める。				

【情報発信】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧事業情報の発信 (定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数)	300件	297件	99.0%	△
《課題・対応の方向》 ・効果的な情報発信方法を模索しつつ、着実な情報発信に努める。				

【施設運営等】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑨観覧料及び事業等収入	図書館は対象外			
⑩施設点検 (だれもが等しく利用できる図書館を目指す)	図書館利用に障がいのある人々へ配慮する。	図書館利用に障がいのある人々へ配慮した。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、図書館利用に障がいのある人々が少しでも利用しやすくなるよう取り組んでいく。				
⑪自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数 個別項目⑬参照)	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上	目標とする研修や講座の参加者延人数に達した。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館などの見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。				

(2) 個別項目 (5区分13項目)

【資料収集・整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
①社史等の収集 (社史と逐次刊行物の新規寄贈数)	516件	557件	107.9%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、刊行情報に注意し、的確な寄贈依頼を行うなど、速やかな収集・提供に努める。				
②破損等資料の修理件数 (修理件数/破損等件数)	100.0%	100.0% (960件/960件)	100.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、書き込み、切り取りや汚破損等の棄損発見に留意し、資料の的確な修理や保存に努める。				

【資料・情報の提供】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
③レファレンスサービス (カウンターでの口頭、電話、メール、 文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む))	4,100件	3,627件	88.4%	△
《課題・対応の方向》 ・レファレンスサービスの周知を図り、利用促進に努める。				
④貸出数 (個人利用者への貸出冊数)	27,000件	24,817件	91.9%	△
《課題・対応の方向》 ・リクエスト等に的確に対応するとともに、貸出サービスの周知を図り、利用促進に努める。				
⑤書庫内資料利用数 (書庫の資料を提供した件数)	34,000件	31,186件	91.7%	△
《課題・対応の方向》 ・書庫内資料の周知を図り、所蔵資料のデータ整備を確実に進めるとともに、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに提供できるよう努める。				
⑥複写枚数 (コイン式コピー、電子ジャーナル等 のプリントアウト、郵送複写等)	125,000枚	113,516枚	90.8%	△
《課題・対応の方向》 ・所蔵資料の周知を図り、データ整備を確実に進めるとともに、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに資料提供できるよう努める。				

【連携・協力事業】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦行政支援サービス (県機関、県試験研究機関や高校図書館等への資料提供冊数等)	500件	565件	113.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービスに努める。				
⑧県内市町村図書館等への貸出冊数	6,200冊	6,457冊	104.1%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、県立図書館と協力したKL-NETによる相互貸借等の推進を図る。				
⑨県外図書館等への貸出冊数	210冊	356冊	169.5%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、魅力的なものづくり技術に関する資料等の周知を図り、さらに収集・提供に努める。				

【広報・普及活動】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑩テーマによる資料展示回数	70回	87回	124.2%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、当館所蔵資料を活用した展示について、時宜に合うテーマに留意しつつ「ものづくりギャラリー」を中心に、館内各所で開催する。				
⑪視察・見学会等実施件数 (視察や見学会、職業体験、インターンシップを受け入れた件数)	60件	16件	26.6%	×
《課題・対応の方向》 ・新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して、視察・見学会、職業体験等の希望に着実に対応するよう努める。				
⑫各団体・機関への広報実施件数 (産業団体や外部機関等へ出向くなど、川崎図書館を広報した、あるいは該当団体・機関の持つ広報手段を活用した広報件数)	50件	28件	56.0%	×
《課題・対応の方向》 ・「新しい生活様式」において適切な手段による当館の周知や講座などを検討し、また、該当団体等の持つ広報手段を通じた広報を積極的に行うよう努める。				

【図書館運営の条件整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑬自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部 の研修や講座の参加者延人数)	300人	380人	126.6%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館等の 見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。				

6 令和4年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画

生涯学習機会の提供	(1) 資料収集・整備	資料・情報の収集	(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑・年報、論文集等)の収集	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の最新の知見が書かれた専門図書、基本概説書、事典等の参考図書を収集する。逐次刊行物においては、信頼性の高い最新情報や研究論文を収録する学会誌、協会誌、講演論文集等を収集する。官公庁発行の報告書、企業技報、理工系大学の紀要等を収集する。
			(イ) 特許関連資料、規格資料等の収集	特許公報関係の解説書及び活用事例に関する図書類、国内外の規格類及び解説書を収集する。
			(ウ) 会社史、経済団体史等の収集	会社史・経済団体史を、寄贈等により積極的に収集し、社史コレクションの充実に努める。
			(エ) 産業安全・労働衛生ビデオ・DVD等の収集	会社・事業所の研修用として、産業安全・労働衛生に関するビデオ・DVDを収集する。
			(ア) 資料の整理、点検、修理、製本	資料点検、修理製本等を行い、常に適正な状態で資料を利用提供できるよう管理する。
	(2) 資料・情報の提供	資料・情報の整備	(イ) 資料データの整備	当館の所蔵データベースのKL-NETに加え、CiNii Booksへのデータ登録や各種目録類を整備・公開し、多様な検索手段を提供する。
			(ウ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備	県立図書館と共同して、神奈川県に関する新聞記事・雑誌論文等を収集し、その索引データをKL-NETに入力して、県民が地域情報を迅速かつ広範囲に検索・入手できる環境を整える。
			(ア) KSP書庫及び相模原書庫の運用・管理	随時書庫入れ作業などを行い、効率的でわかりやすい書架を維持するように努める。KSP書庫(主に雑誌)及び相模原書庫(図書)に保管する資料について、適切な維持管理を行う。
			(イ) 野庭取蔵庫(科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー)の運用・管理	神奈川県資料室研究会加盟企業等から寄贈された科学技術系外国語雑誌を、横浜市内の野庭取蔵庫に保管し、データを公開して、利用に供する。
			(ア) レファレンスサービス	ものづくり技術分野に関する科学技術資料及び会社史資料に関する様々な質問について、迅速かつ確かな対応を行う。特に、規格や特許については当館独自の分野であるので、市町村職員対象の研修会やレファレンス協同データベースへの登録で、当館のノウハウの伝達にも努める。
	基本的サービス	(イ) 閲覧、登録、貸出(視覚資料含む)、リクエストサービス	2つのカウンターに司書職員を配置し、的確な利用者サービスを実施する。研究者や技術者、ビジネスユースの利用者のために、雑誌のバックナンバー等の大量出納にも応じ、効率的な調査研究を支援する。産業安全・労働衛生ビデオ・DVDは団体貸出を行う。	
		(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス	館内で図書や雑誌の文献複写ができるようコピー機を設置している。郵送による文献の複写や自宅での図書の受け取り等、開館時間内に来館できない県民にも広くサービスを行う。	
		(エ) 電子ジャーナル・オンラインデータベースサービス、電子書籍	電子情報通信学会技術研究報告等の電子ジャーナルを提供するとともに、JDreamIII(科学技術に関する論文検索)、JP-NET(特許検索)等のデータベースや電子書籍を提供する。	
		(オ) Wi-Fi利用サービス	Wi-Fiを導入し、利用者が所有する端末からインターネット接続ができるようにしている。	
		(カ) 障がい者サービス	全ての方が図書館において必要な情報が入手できるように、拡大読書器の提供や筆談対応、図書の郵送貸出サービスを行う。	
	特色あるサービス	(ア) ものづくり情報の提供	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の専門的な図書・雑誌を提供し、科学技術情報の普及に努める。	
		(イ) 知的財産関係情報等の提供	特許関係の図書・雑誌を提供する。専門家による相談事業を行い、「知財スポット」を活用した知的財産情報の普及に努める。	
		(ウ) 社史情報の提供	約21,000冊の会社史を所蔵している。社史関連講演会や社史フェアの開催、社史の魅力の広報等多面的なサービスを展開する。	
		(エ) ものづくり入門資料等の提供	ものづくり技術に関する入門的な資料を「ものづくり入門コーナー」に集約して提供し、一般の利用者のものづくり技術への理解や関心を促進する。	
		(ア) 図書館情報ネットワークの推進	県立図書館と協力して、KL-NETを通じた県内市町村立図書館の資料の相互利用を図り、県民サービス向上につなげる。	
(3) 連携・協力事業	連携・協力	(イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進	都道府県立図書館等との相互利用を推進し、利用者の利便性の向上を図る。	
		(ウ) 県立高校、県内大学図書館等との連携、協力の推進	県立高校の図書館や県内の大学図書館等へ資料を提供するなど、教育現場における学習や調査研究のための連携、協力を推進する。	
		(エ) 行政支援の推進	各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービス等を行い、県職員の業務遂行、研究活動を支援する。	
		(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整	神奈川県資料室研究会は、県内企業、大学、研究機関のライブラリーや知的財産部門で構成されている館種を超えたネットワークであり、例会の開催や、ニュースと年報の発行をサポートする。	
		(イ) 知的財産関係団体等との連携	知的財産の創造、保護及び活用を推進するとともに、中小企業等の知的財産戦略策定の支援をするために、県内知的財産関係機関が相互に連携を強化する。弁理士会等との連携により、相談、交流、セミナー事業を行う。また、技術士会、中小企業診断士会等との連携に取り組む。	
(4) 広報・普及活動	広報活動	(ア) 展示等の実施	当館所蔵資料と自作パネルや他からの借用物と組み合わせて、「ものづくりギャラリー」や協力機関等での展示を開催する。時宜に合うテーマを選び、当館の魅力発信の場として実施する。館外でのPRにも努める。	
		(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応	図書館を身近に感じ、理解を深める手段として、大学生インターンシップや司書資格習得のための図書館実習を受け入れ、将来の人材育成に貢献する。また、高校生・中学生の職業体験や見学希望を受け入れる。	
		(ウ) ホームページの運営	展示や講演会等のイベントの案内や報告、図書館での出来事など、有益な広報の手段としてホームページを活用する。「司書の出番(ブログ風の記事)」、県立の図書館の公式Twitterなど、生き生きとした情報発信を心がける。	
		(ア) 展示関連イベントの開催	展示を当館の広報の中心と位置づけ、展示に合わせて講演会等も開催し、重層的な「知」の機会を提供する。	
		(イ) ものづくりカフェの開催	平成18年度から開催を続け、気軽に科学技術の専門家と語り合える場として人気のイベントであるサイエンスカフェを引き継ぎ、ものづくりカフェとして開催する。	
(5) 図書館運営の条件整備	講座等開催事業	(ウ) 各種イベントの開催	資料の調べ方講座、図書館ガイダンス、子ども科学実験室、大人の理科教室等魅力的なイベントを開催していく。	
		(ア) 館報「ものづくり文化」の発行	当館の館報「ものづくり文化」を刊行する。来館者、県内公共・大学図書館や全国の都道府県立図書館等に配布する。	
		(イ) 定期刊行物	社史情報紙「社楽」を発行する。また、当館の事業等の報告をまとめた「要覧」を発行する。	
		(ア) 図書館アドバイザー・レクチャー制度の運営	両図書館の長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画、実施しているが、両館共通のテーマ設定、ふさわしい講師の選定などに協力し、職員研修機会としても機能させる。	
		(イ) 活動評価の実施、公表	図書館活動について「計画→実施→評価→見直し」の持続的な運営改善を図ることを目的として活動評価を行い、その結果を公表する。社会教育施設評価書の全館共通評価項目及び当館の個別評価項目の2体系で活動評価を行う。	
運営状況の点検・評価	(ウ) 利用調査の実施	図書館の利用実態を把握するために、県立図書館と共同して来館者対象にアンケート調査を実施し、その結果を分析して、今後のサービスに活かす。		
	(エ) 職員の研修	館内整理日を活用して、司書職員の資質向上のための研修機会を設ける。神奈川県図書館協会の研修をはじめ、各種研修に積極的に参加し、その成果を共有して、全職員のレベルアップにつなげ、利用者の満足度向上を図る。		
	(オ) 職員の研究と発信	情報の専門職として司書職員のスキルアップの活動を支援し、研修講師、図書館の紀要や学会誌への論文の投稿や、研究成果の発表・発信に結実させ、川崎図書館職員全体の能力向上を図る。		
	(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備	図書館として必要な施設の維持管理を行い、施設設備等の不具合が生じた際には適宜原状復帰を図るとともに、利用者に快適な施設環境を提供し、利用促進のための諸施設の整備を行う。県立川崎図書館の業務の運用に係る効率的な経費の執行を行う。		
	(イ) 環境マネジメントシステムの推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮を行う。		
施設の整備	(イ) 環境マネジメントシステムの推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮を行う。		
	(ア) 県立図書館等との更なる連携	県立図書館等と連携し、資料利活用のための保存機能強化の検討を進める。		
保存機能強化の検討	(ア) 県立図書館等との更なる連携	県立図書館等と連携し、資料利活用のための保存機能強化の検討を進める。		

7 予算・決算

(1) 令和4年度当初予算

(単位：円)

事業名	細事業名	予算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	182,728,000	賃借料、共益費 168,444,000	
	財源内訳	雑入	1,105,000	複写サービス
		立替収入	20,000	複写機電気料金立替収入
		一般財源	181,603,000	
	図書館事業費	18,142,000	高度先端技術情報・専門資料の提供 16,065,000 講演会等の実施・連携 2,077,000	
	財源内訳	雑入	58,000	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	18,084,000	
	計	200,870,000		
	財源内訳	雑入	1,163,000	
		立替収入	20,000	
一般財源		199,687,000		

(2) 令和3年度決算見込

(単位：円)

事業名	細事業名	決算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	178,989,352		
	財源内訳	雑入	276,750	複写サービス等
		立替収入	13,239	複写機電気料金立替収入
		一般財源	178,699,363	
	図書館事業費	23,577,032	資料・情報整備費 12,548,360 産業資料充実費 1,103,586 講演会及び調査相談事業費 9,925,086	
	財源内訳	雑入	1,120	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	23,575,912	
	計	202,566,384		
	財源内訳	雑入	277,870	
		立替収入	13,239	
一般財源		202,275,275		

(参考) 川崎図書館費の推移

(単位：円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	R3/H29	
当初 予算額	維持運営費	29,579,000	18,628,000	18,395,000	205,917,000	181,247,000	612.8%
	図書館事業費	18,884,000	19,988,000	20,299,000	20,299,000	23,802,000	126.0%
	整備事業費	630,704,000	199,334,000	379,909,000	138,956,000	-	-
	計	679,167,000	237,950,000	418,603,000	365,172,000	205,049,000	30.2%
決算額	維持運営費	23,458,745	15,153,839	13,546,636	201,308,806	178,989,352	763.0%
	図書館事業費	18,526,160	19,500,022	19,672,253	19,657,077	23,577,032	127.3%
	整備事業費	465,852,694	187,390,105	233,869,853	122,217,900	-	-
	計	507,837,599	222,043,966	267,088,742	343,183,783	202,566,384	39.9%

8 令和3年度 事業の概況

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

ア 開館、催事

令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、万全の感染拡大予防策を講じながらサービスの提供に努めた。

図書館の開館やサービスの体制は、「特措法に基づくまん延防止等重点措置に係る神奈川県実施方針」、「特措法に基づく緊急事態措置に係る神奈川県実施方針」、「新型コロナウイルス感染症対策の神奈川県対処方針」、「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」に基づいて対応した。

開館の状況については、4月20日から10月24日のおよそ半年の間、平日の開館時間を30分短縮した。

催事については、中止としたイベントもあったが、参加人数を減らす、オンラインでの開催にするなどにより実施した。

イ 具体的な感染予防対策

- ・ 入口や館内の掲示等により、マスクの着用、手洗い・手指消毒の徹底及びLINEコロナお知らせシステムを来館者に周知し、館内放送で呼びかけ。
- ・ 入館時サーマルカメラによる検温を実施。
- ・ CO₂濃度測定器の設置（6月22日）。
- ・ 図書館入口での手指消毒のため、自動消毒器を設置（7月6日）。
- ・ ソーシャルディスタンスの確保（座席数を減らす、カウンター前床面に表示等）。
- ・ 館内滞在人数の制限を80人から100人に変更。キャレル席について、仕切りを拡大し座席数を24席に戻した（11月24日）。
- ・ 長時間の利用は避けていただくよう掲示等で案内。
- ・ カウンターは、アクリルパネルやビニール等を設置し、対応する職員はマスク、手袋を着用。
- ・ 定期的な座席等の清拭及び公開雑誌カバーの清拭の実施。
- ・ 来館者の利用の都度、職員がコピー機、キーボード、マウス等のアルコール消毒を実施。
- ・ 返却本は、一定期間が経過した後、書架に戻す。
- ・ 座席等で閲覧された資料を所定の返却台に戻すよう案内。
- ・ 本の除菌ボックスの提供。

(2) 資料収集・整備

ア 資料・情報の収集

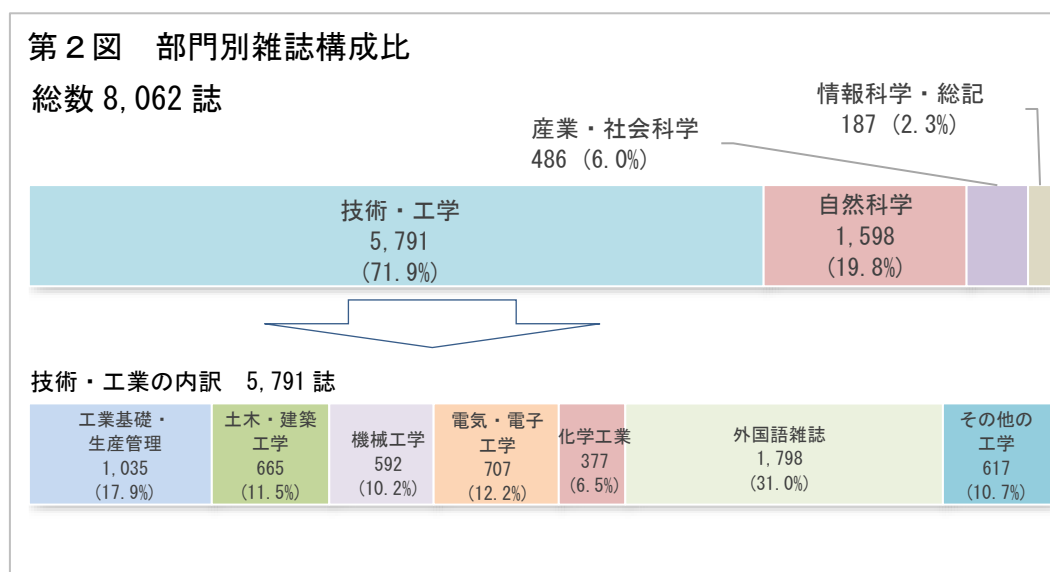
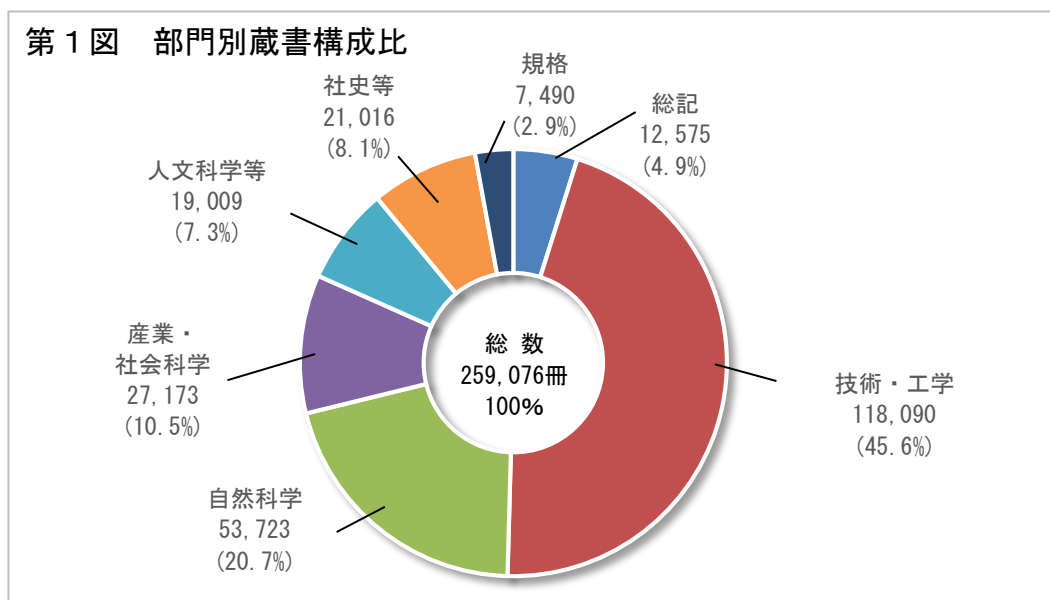
(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物（雑誌、年鑑・年報、論文集等）の収集

a 図書

令和4年3月末現在の蔵書冊数は259,076冊（前年度261,447冊）で総冊数は前年度に比べて2,371冊の減少となっている。図書の部門別蔵書構成比は第1図のとおりである。

受入冊数 1,576 冊(前年度 1,517 冊)のうち 70.2%が寄贈によるものとなった。

また、亡失図書や汚破損図書について、計 19 冊の除籍を行った。加えて、県立図書館と重複している等不用となった年鑑・年報 558 冊を除籍し、県立図書館へ 0 門(総記)・2 門(歴史)・9 門(文学)など 3,134 冊の管理換を行い、図書 236 冊を雑誌扱いとした。これらの作業によって払出し冊数は 3,947 冊(前年度 173 冊)となった。(p. 35 事業統計第 1 表 参照)



b 逐次刊行物類

雑誌類の令和 4 年 3 月末現在の所蔵タイトル数は 8,062 誌(前年度 8,051 誌)となっている。これは、購入あるいは寄贈の中止、休・廃刊、誌名変更等による非継続誌を含んでおり、継続受入誌はこのうち 1,148 誌(前年度 1,342 誌)である。主に学・協会誌、大学研究報告書、官公庁・企業等の発行する科学・技術専門雑誌などを収集している。

外国語雑誌の所蔵タイトル数は内数として 2,192 誌(前年度 2,192 誌)で、その内訳は、購入 2 誌、野庭収蔵庫保管分(デポジット・ライブラリー) 1,798 誌、(公社)日本化学会等からの寄贈 389 誌等となっている。雑誌の部門別構成比は第 2 図のとおりである。

なお年々電子化される雑誌が増えてきており、雑誌の外数扱いで電子ジャーナル・データベースの内訳の一部としてカウントしている。

短期の保存期間が満了した非継続寄贈雑誌ほか、合わせて7タイトル(前年度11タイトル)を払い出した。

新聞は34紙(前年度33紙)で、そのうち継続受入紙は、購入が一般紙を含めた6紙、寄贈による収集は21紙となっている。(p.35 事業統計第2表、第3表のア 参照)

(イ) 特許関連資料、規格資料等の収集

特許関係の解説書・活用事例に関する図書等の収集を行った。

また、規格資料については「所蔵規格資料類リスト」を図書館ホームページに掲載し、利用者への便宜を図っている。主な所蔵資料は次表のとおり。

主な規格資料の保有状況

区分		保有状況
国際・海外規格	ASTM (米国材料試験協会規格)	2020年版 旧年版もあり
	DIN (ドイツ連邦規格)	1971年版～2012年版のハンドブックの一部 (英訳版も一部所蔵)
国内規格	JIS (日本産業規格)	全分野 (A～Z) 所蔵 毎月差し替えを行っている。廃止JISは1996年以降所蔵。JISハンドブック、英訳JISハンドブック (2019年刊行分が最新) も所蔵
	JEC (電気学会規格)	大部分所蔵 (廃止も一部所蔵)
	JEM (日本電気工業会規格)	追録あり 2019年更新分まで
	JASO (自動車技術会規格)	2020年版が最新

(ウ) 会社史、経済団体史等の収集

全国有数のコレクションであり、積極的に収集を行った。その大半は、発行元ほか、社史を多く所蔵している各団体より寄贈いただき、寄贈冊数等は539冊となった。購入による収集は6冊で、令和3年度の受入数は545冊(前年度364冊)、所蔵総数は21,016冊(前年度20,480冊)となった。(p.35 事業統計第1表 参照)

(エ) 産業安全・労働衛生ビデオ・DVD等の収集

令和3年度は、産業安全・労働衛生ビデオ・DVDについては寄贈1本を受け入れ、令和4年3月末の所蔵総数は587本(前年度586本)となっている。その内訳は、産業安全・労働衛生等の団体貸出用358本(ビデオテープ274本、DVD84本)、個人貸出用がビデオ・DVDを合わせて229本となっている。(p.35 事業統計第3表のイ 参照)

イ 資料・情報の整備

(ア) 資料の整理、点検、修理、製本

令和3年度は、令和3年3月24日から4月8日にかけてシステム更新作業および館内整理のサービス休止期間があったため、この期間に資料点検を行った。作業内容はいずれもKSP内に配架した図書(公開・書庫)のICタグによる点検、書庫内雑誌一部の点検と移動、JISファイルの整理などを実施した。

破損等で修理が必要となった資料については随時対応し、令和3年度は960件（前年度1,062件）の修理を行った。

(イ) 資料データの整備

購入・寄贈等により新規に受け入れた資料の書誌・所蔵データを速やかに作成し、OPACおよびホームページ上に公開する所蔵目録により利用者に提供している。「雑誌架最新号公開リスト」「科学技術系外国語雑誌目録」「産業安全・労働衛生ビデオ&DVD 所蔵目録」等のリストを公開しているほか、「所蔵規格資料類リスト」の更新を逐次行っている。

(ウ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備

県立図書館と分担して、神奈川県に関する文献（新聞記事及び図書・雑誌論文等）の主な情報を入力し、利用者に提供している。令和3年度は、神奈川県に関する文献557件（県内新聞記事178件、県内文献379件）の新規データ入力を行った（前年度329件）。

ウ 書庫・収蔵庫の運用

(ア) KSP 書庫及び相模原書庫の運用・管理

移転を機に、旧川崎図書館に所蔵していた資料はKSPと相模原書庫の2カ所に保管することとなった。このうちKSP書庫には、雑誌5,985タイトル、新聞、及び備品図書や書庫内社史等の図書約29,000冊を配架している。相模原書庫には約133,000冊の図書を箱保管している。

相模原書庫からの図書の配送は、原則として当日12時までに依頼されたものを当日16時までに提供する体制を組んでいる。令和3年度の利用冊数は、4,037冊（前年度3,289冊）であった。（p.37 事業統計第6表のイ 参照）

(イ) 野庭収蔵庫（科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー）の運用・管理

県内企業資料室等との協力により、科学技術系外国語雑誌を保存・活用している。ただし、令和3年度中からは収蔵スペースの都合により寄贈雑誌の受け入れを中止した。現在の所蔵タイトル数は1,798誌（前年度1,798誌）である。その他に、図書約32,000冊、和雑誌279誌がある。

宅配によりKSP内への資料配送を行い、閲覧及び複写の利用に供する形をとっている。平成30年9月からは、派遣職員が週2回（火・金曜）現地勤務する体制となっている。利用冊数は977冊（前年度1,083冊）、複写枚数は892枚（前年度1,106枚）だった。複写枚数のうち87.0%は外国語雑誌であった。（p.37 事業統計第6表のウ 参照）

(3) 資料・情報の提供

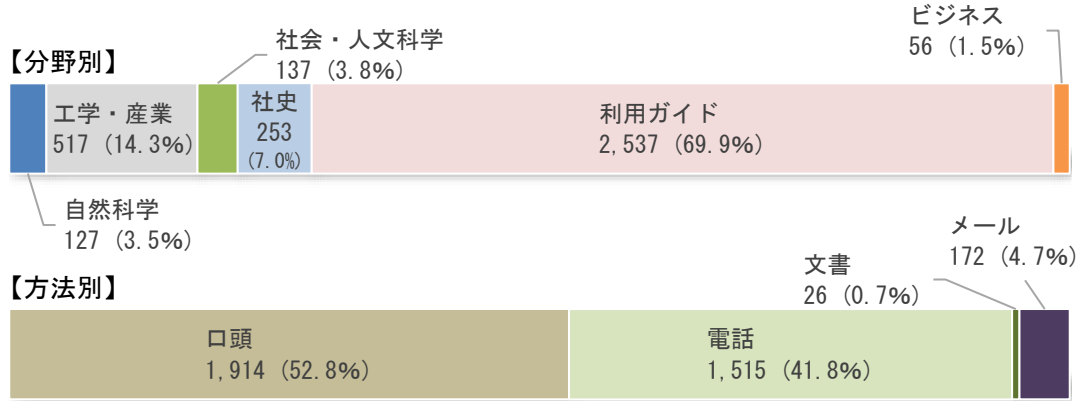
ア 基本的サービス

(ア) レファレンスサービス

令和3年度のレファレンス受付件数は協力レファレンス123件を含めて3,627件（前年度2,933件）であった。当館の特色である科学技術や特許、規格に関するレファレンス事例については、国立国会図書館のレファレンス協同データベースシステムに登録し広く公開した。レファレンスの分野別・方法別内訳は、第3図のとおりである。（p.36 事業統計第5表参照）

第3図 レファレンス分野別・方法別内訳

総数3,627件（協力レファレンス含む）



(イ) 閲覧、登録、貸出（視聴覚資料含む）、リクエストサービス

令和3年度の入館者数は70,416人（前年度51,845人）であった。（p.36 事業統計第4表参照）

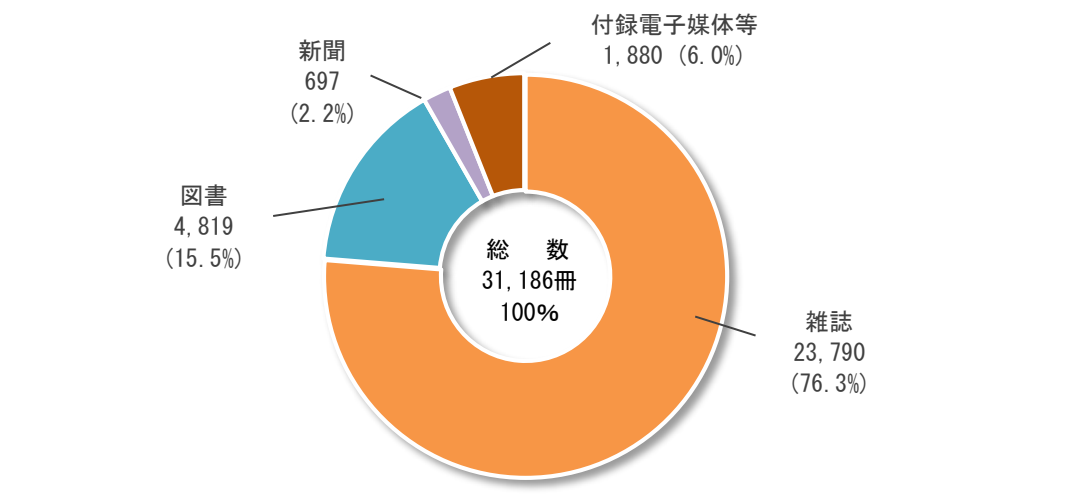
個人の新規登録者は1,163人（前年度907人）であった。貸出は図書23,821冊（前年度22,018冊）、視聴覚資料の個人貸出は996点（前年度944点）であった。（p.38～p.39 事業統計第8、9表、p42 第14表のア参照）

会社・事業所などの研修等で利用される産業安全・労働衛生ビデオ・DVDについて、登録団体は44団体（うち新規登録者は16団体）、貸出は66件（ビデオ15点・DVD179点）で、上映回数は436回、参加人数は7,353人となっている。（p.42 事業統計第14表のイ参照）

書庫内資料利用の総数は31,186冊（前年度33,122冊）であった。書庫内資料利用の76.3%が雑誌である。書庫内資料の利用構成比は第4図のとおりである。（p.37 事業統計第6表参照）

リクエストサービスは9,070件（前年度7,836件）であった。（p.39 事業統計第10表参照）

第4図 書庫内資料利用構成比



(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス

複写サービスの総計は申し込み 2,877 人（前年度 2,921 人）、複写枚数 113,516 枚（前年度 121,935 枚）であった。（p. 40 事業統計第 11 表 参照）

宅配貸出サービスは、176 冊（前年度 257 冊）であった。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、宅配貸出サービスが増加したが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症が落ち着き始めたため、前年度比 31.5%減となった。

郵送複写サービスは、e-kanagawa 電子申請システムによる申込受付を 6 月 1 日から開始し、郵送複写料金の支払いがクレジットカードまたは Pay-easy でできるようになった。また、3 月 28 日からは、スマートフォンを利用した 2 次元バーコード決済、電子マネー決済等による郵送複写料金の支払いが可能となった。

(エ) 電子ジャーナル・オンラインデータベースサービス

電子ジャーナル・オンラインデータベース利用人数は 1,179 人（前年度 1,409 人）で、前年度比 16.3%減となった。前年度より利用人数が減っているのは、令和 3 年度から「IEEE Xplore 限定メニュー版」（米国電気電子学会）、「Brand Mark Search」（日本パテントデータサービス（株））、「Innovation Q+」（ip.com）、「官報情報検索サービス」（（独）国立印刷局）の計 4 つの電子ジャーナル・データベースを休止したため、利用できるコンテンツが減少したことによると考えられる。

電子ジャーナルでは「Taylor & Francis 理工系コレクション 3 分野」の利用者数が 8 人（前年度 2 人）、国内学会誌の利用者数が 482 人（前年度 532 人）であった。オンラインデータベースでは「Scopus」（エルゼビア社）の利用者数が 36 人（前年度 80 人）、他のオンラインデータベースの利用者数も前年度と比べて減少傾向にあるが、「JP-NET」（日本パテントデータサービス（株））は 47 人（前年度 19 人）、「J-PlatPat」（（独）工業所有権情報・研修館）は 39 人（前年度 19 人）と利用者数が増えている。（p. 38 事業統計第 7 表の ア 参照）

また、利用状況の他の指標としての文献閲覧件数は、「Scopus」が 526 件（前年度 779 件）となった。（p. 38 事業統計第 7 表の イ 参照）

さらに、オンラインデータベースの情報提供の一環として、ミニレクチャーを 4 回開催した。「Scopus」の利用を促進するミニレクチャーは 17 人が受講した。「JP-NET」の利用を促進するミニレクチャーは 2 回行い、1 回目は 14 人、2 回目は 19 人が受講した。

(オ) Wi-Fi 利用サービス

令和元年 6 月から Wi-Fi の運用を変更し、1 度メールアドレスを登録すると 1 年間は再登録なしで利用できるようにした。令和 3 年度の登録件数は 431 件と、令和 2 年度の 343 件より増加している。

(カ) 障がい者サービス

当館では、（一社）全日本難聴者・中途失聴者団体連合会より使用許諾を得て「耳マーク」を掲示し、カウンターには筆談用の器具とコミュニケーションボードを設置している。また、必要な方には拡大読書器をご利用いただけるようにしている。

7 月から「遠隔手話通訳サービス」を開始したが、令和 3 年度は利用がなかった。

なお、来館が困難な方のために、図書の郵送貸出サービスを行っているが、令和 3 年度は利用申込がなかった。

(キ) その他

a 調査研究席の試行

当館の資料を使用して調査をする方に優先して使用していただくための「調査研究席」の試行を、令和4年度の本格実施に向け、令和3年3月12日から令和3年度にかけて1年間行った。

b 新聞閲覧専用席の設置

6月に、着席して新聞を閲覧することができるように「新聞閲覧専用席」を1席設置した。

c リユースコーナーの設置

6月から、当館の除籍資料や、収集対象外の資料の有効活用を図るため、手続き不要で自由にお持ち帰りいただくリユースコーナーを、ものづくりギャラリーにブックトラック1台を設置して開設した。令和4年2月から県立図書館より提供された資料も置くようにした。

イ 特色あるサービス

(ア) ものづくり情報の提供

ものづくり技術に関する最新の知見の資料等の整備・提供に努めた。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に配慮した上で、講演会・イベントの開催、ものづくりギャラリー等で展示を行った。(p. 30 令和3年度 講座等実施状況 参照)

(イ) 知的財産関係情報等の提供

知的財産関係情報等の提供の一環として、電子ジャーナル・データベース席の端末で、特許情報データベース「JP-NET」や「J-PlatPat」、米国特許商標庁、欧州特許庁のサイトによる特許情報の提供を行った。

令和2年度に延期となった日本弁理士会関東会と(地独)神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)との共催事業「図書館で学ぶ知的財産講座－弁理士と共に学ぶ初心者向け知財」の第3回と第4回を開催し、第3回は4人、第4回は16人が受講した。

日本弁理士会関東会とKISTECと共催して「図書館で学ぶ知的財産講座－弁理士と共に学ぶ知財基礎セミナー(全4回)」を会場参加とオンライン参加を選べるハイブリッドで開催し、第1回は48人(会場参加とオンライン参加の合計人数。以下この項目内について同じ)、第2回は37人、第3回は54人、第4回は37人が受講した。

KISTEC主催による「知財セミナー」を会場参加とオンライン参加を選べるハイブリッドで1回共催し、23人が受講した。

関東経済産業局の「知的財産活用普及啓発セミナー事業」を神奈川県及びKISTECと共催して、オンラインで開催し、97人が受講した。

相談事業としては、「知財総合支援相談」は月2回、(独)工業所有権情報・研修館(INPIT)の神奈川県知財総合支援窓口の協力を得て、14件(前年度4件)の相談があった。「創業・経営相談」は月2回、(特非)日本技術マネジメント協会の協力を得て、11件(前年度4件)の相談があった。平成30年度から開始した「知的財産相談」は月2回、日本弁理士会関東会の協力を得て、11件(前年度5件)の相談があった。

さらに、日本弁理士会関東会と連携して「企業関係者と弁理士の知財研究会」(全6回)

を隔月で奇数月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、9月の回のみ中止となった。

「産業関係団体からの推薦図書コーナー」では、川崎商工会議所や（公財）神奈川産業振興センター等9団体から推薦された図書を展示した（1回）。

KSPやKISTECとの連携によるコーナーを設け、KSPの刊行物やKISTECの教育講座等の紹介とともに関連図書の展示を行った。（p.30～p.34 令和3年度 講座等実施状況、p.41 事業統計第13表 参照）

（ウ） 社史情報の提供

全国有数の社史コレクションを公開し、利用に供し、その活用を図った。

社史関連の催事は、新型コロナウイルス感染症の影響による企業等の出張の自粛もあり、社史編纂セミナーは開催できなかった。社史フェアについては、12月27日から3月28日までの期間限定で、令和2年に刊行された200点の社史に解説を付けて展示する「社史フェア2021」をオンラインで開催し、944回のアクセスがあった。

社史コレクションの活用のため、社史の使い方や社史情報などを紹介する「社楽」を6回刊行した。（p.27（5）ウ（イ） 定期刊行物 参照）

ホームページでは、特色のある社史を写真と文章で紹介する「すごい社史」で13件の社史を取りあげた。

（エ） ものづくり入門資料等の提供

子どもから大人まで利用できるものづくりと関連した入門的な資料を整備し提供した。ものづくりに関連のある漫画と合わせて約2,300冊を提供している。

（4） 連携・協力事業

ア 連携・協力

（ア） 図書館情報ネットワークの推進

県立図書館を通じた県内公共図書館への資料提供数は6,260冊（前年度5,421冊）であった。内訳は県立図書館1,898冊、市町村立図書館1,710冊、横浜西口カウンターに2,652冊である。（p.42 事業統計第15表 参照）

また、県立図書館から4,241冊、県内市町村立図書館から359冊借り受け、利用者に提供した。（p.39 事業統計第10表 参照）

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業のなかで、川崎図書館の特色ある資料とサービスについて当館職員が担当し、研修を実施した。（p.28（6）ア（オ） 職員の研究と発信 参照）

（イ） 都道府県立図書館等との相互利用の推進

県外の公共図書館に349冊を貸し出し（前年度198冊）、また58冊を借り受けた（前年度25冊）。科学技術・工学系の専門書や社史など当館の特色ある資料が全国で広く利用された。（p.42 事業統計第15表、p.39 第10表 参照）

(ウ) 県立高校、県内大学図書館等との連携、協力の推進

「県立の図書館と県立高等学校との連携・協力事業」を利用する県立高等学校への資料提供やレファレンスサービスに努めた。貸出冊数は107冊（前年度81冊）であった。

県内大学図書館には県立図書館協力車により33冊（前年度25冊）を貸し出した。いずれも前年度より増加した。（p.42 事業統計第15表 参照）

イ 関係団体等業務

(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整

60周年を迎えた神奈川県資料室研究会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面による総会を5月、書面による臨時総会を10月に開催した。また、理事会（10回）及び月例会（5回）については、オンラインにて開催した。

刊行物は、「神資研ニュース」年3回、年報「神資研 第55号/神資研六十年の歩み」を発行した。令和3年度末の会員数は、正会員74、賛助会員11、個人会員21、合計106会員であった。当館では、館長が会長を務め、理事1人（事業部長）、事務局を企画情報課が担当している。

(イ) 知的財産関係団体等との連携

県産業振興課が主催する「知的財産関係機関連絡調整会議」が書面開催で1回、INPIT神奈川県知財総合支援窓口が主催する「神奈川県知財総合支援窓口運營業務支援機関連携会議」がオンラインで2回開催され、当館は知的所有権センター支部として参加し、関係機関との情報交換等を行った。

なお、「神奈川県知的所有権センター支部」の名称は、本部であるKISTECが令和3年度をもって名称を廃止するのに併せて、支部である当館も、令和4年3月31日をもって廃止した。

(5) 広報・普及活動

ア 広報活動

(ア) 展示等の実施

a ものづくりギャラリーでの展示

当館所蔵資料の紹介と利用の促進を目的として、ものづくりギャラリーで展示を2回開催した。（p.30 令和3年度 講座等実施状況 参照）

b メディア等での広報

テレビ、ラジオ、雑誌等のメディアで当館の資料やサービス等が取り上げられた。

(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応

a 図書館実習

大学で図書館司書資格の取得を目指す学生を実習生として受け入れた。

学校名	受入期間	人数
慶應義塾大学	9月1日（水）～11日（土） （8日間）	1人
相模女子大学	9月1日（水）～11日（土） （8日間）	1人

b インターンシップ

県の事業として、例年インターンシップ生を受け入れているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和3年度は中止となった。

c 体験学習等

学校からの依頼を受け、体験学習等の生徒を受け入れているが、令和3年度は申し込みがなかった。

d 見学者の状況

令和3年度は合計で14件、48人の見学者を受け入れた。

(ウ) ホームページの運営

ホームページに展示や講演会のイベントの案内や報告、「ものづくりのための新着情報」、「司書の出番」、神奈川県立の図書館公式Twitter等に情報を掲載し広報に努めた。

令和3年度は、4月にシステム更新により、ホームページとOPAC（蔵書検索）をリニューアルした。また、「閲覧室内ミニ展示紹介」をホームページ上で公開した。

イ 講座等開催事業 (p.30 令和3年度 講座等実施状況 参照)

(ア) 展示関連イベントの開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和3年度は実施しなかった。

(イ) ものづくりカフェの開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和3年度は実施しなかった。

(ウ) 各種イベントの開催

a 文字・活字文化の日関連イベント

文字・活字文化の日を記念し、(国研)理化学研究所の協力を得て講演会「環境という複雑系～ヒトと生命の成長・学習・研究環境～」をオンラインで開催した。

b 電子ジャーナル・データベース関連

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、JP-NET や Scopus についてのミニレクチャーをオンラインで4回開催し、電子ジャーナルやデータベースの周知や利活用の促進に努めた。

c 実験教室の開催

子供向けの「子ども科学実験室」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和3年度は実施しなかった。

社会人や学び直しに興味のある方を対象とした「大人の理科教室」を(特非)NPOブルーアースの協力を得て2月に開催した。

ウ 刊行物の発行

(ア) 館報「ものづくり文化」の発行

平成30年度より誌名を「科学EYES」から「ものづくり文化」に改めて年1回発行している。特集テーマを「ものづくりとSDGs～カーボンニュートラル～」として、池田真樹氏((株)横浜環境デザイン)、下川大輔氏(神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室)に特集論文の執筆を依頼したほか、ものづくりに関係する方々に寄稿していただいた。当館職員も執筆した。

(イ) 定期刊行物

定期刊行物として、社史情報を紹介する広報紙「社楽」を6回発行した。

また、当館の事業等の報告をまとめた「令和3年度要覧」を発行した。

刊行物一覧

名称	規格	ページ数	部数	発行年月
館報「ものづくり文化」 第63巻「特集 ものづくりとSDGs～カーボンニュートラル～」	A4	18	1,000	R4.3
社楽(社史情報紙)				
Vol.91「ドイツ人捕虜の活躍」				R3.12
Vol.92「社史に書かれたSDGs」				R4.1
Vol.93「気になります 色合い」	A4	各2	各250	R4.1
Vol.94「社史の中の家族と仲間」				R4.1
Vol.95「社員の声が聞こえる」				R4.2
Vol.96「虎を探しに、社史コーナーへ」				R4.3
令和3年度要覧	A4	44	40	R3.12

(6) 図書館運営の条件整備

ア 運営状況の点検・評価

(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営

平成13年度より、県立図書館および県立川崎図書館の長が、有識者から、図書館の経営方針や運営方法などに関し必要に応じて情報および助言等を得ることを目的として開始した。職員の研修としても活かされている。

令和3年度はオンライン、講師来館（両県立図書館をWeb会議システムでつないだ）にて開催した。

開催日	アドバイザー	テーマ
1月27日(木) 14:00～16:00	野口 武悟 氏 専修大学文学部教授	「読書バリアフリー法と公共図書館」
3月10日(木) 14:00～16:00	川島 宏 氏 (株)栗原研究室 代表取締役設計室長	「自然災害と図書館 -事例を通じて備えを考える part 2-」

※県立図書館との共催事業として実施

(イ) 活動評価の実施、公表

図書館活動について計画→実施→評価→見直しのサイクルを実現し、運営の継続的な改善を図ることを目的として、毎年度目標数値を掲げ、活動評価を行っている。令和3年度については、社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分10項目）および個別項目（5区分13項目）について目標値を設定した。評価基準は、「達成（目標値 \geq 100%）」「ほぼ達成（目標

値 \geq 80%)」「未達(目標値 $<$ 80%)」としている。結果は、「達成」が12項目、「ほぼ達成」が6項目、「未達」が5項目であった。(p.10 令和3年度 県立川崎図書館の活動評価 参照)

(ウ) 利用調査の実施

利用実態を把握し図書館運営の参考にするため、県立図書館と共同で10月18日～10月23日の6日間に利用者アンケートを実施した。アンケートの結果と分析についてはホームページで公開している。

(エ) 職員の研修

例年、館内整理日に職員向けの研修会「専門家に資料を学ぶ」を1回開催している。令和3年度は「バイオベンチャーの事例紹介とKSPの未来を考える」をテーマに、窪田規一氏(株)ケイエスピー 代表取締役社長)にレクチャーしていただいた(9月9日)。

その他、館内整理日に館員による職員研修を実施したほか、神奈川県資料室研究会等が主催する研修会に参加して研鑽に努めた。

新採用職員に対する研修は、県立図書館と共同で計画的に行った。

(オ) 職員の研究と発信

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業ほかで、当館職員が研修の講師等を務めた。

県立図書館主催

月日	研修名	テーマ等	講師
6月18日(金) ～ 7月6日(火)	市町村図書館等職員 基礎研修(資料掲載)	「県立川崎図書館の機能と役割」	企画情報課 主査 廣瀬 洋
8月17日(火) ～ 9月10日(金)	高校連携事業 (資料掲載)	「ネットを使った調べもの—科学技術系を中心に—」	企画情報課 主査 廣瀬 洋
9月21日(火) ～ 10月1日(金)	市町村図書館等職員専門研修 レファレンス (資料掲載)	「科学技術分野のレファレンス～県立川崎図書館の事例紹介」	企画情報課 司書 堀田 桃香

他団体主催

月日	派遣先	テーマ等	講師
6月16日(水)	日本女子大学司書課程 科目「図書館概論」	神奈川県立川崎図書館の施設・設備、サービス、資料、職員および職務	企画情報課 司書 小池 綾子
9月15日(水)	日本女子大学 教養特別講義「第3回教特セミナー」(オンライン)	今の仕事内容と大学での学びとの関係、学生へのアドバイスなど	企画情報課 司書 小池 綾子

11月16日(火)	(株) 出版文化社 社史オンラインセミナー 「社史プロジェクト成功の秘訣」 *講演部分は(株) 出版文化社において収録(オンライン)	「社史の編纂と図書館の活用法」	企画情報課 課長 高田 高史 副主幹 稲木 美由紀
12月3日(金)	専門図書館協議会 教育プログラム (オンライン)	「図書館を“広報”する～神奈川県立川崎図書館の実例紹介～」	事業部長 矢島 薫 企画情報課 司書 小池 綾子

イ 施設の整備

(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備

閲覧室内の無線 LAN について、セキュリティ向上のため、基盤構築及び回線整備等の環境整備を実施している。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、利用者が安心して来館し図書・資料に触れることができるように、CO₂濃度測定器や自動手指消毒器等を整備した。

(イ) 環境マネジメントシステムの推進

環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守するとともに、電気などの省エネルギーや裏紙の利用、焼却ゴミの削減等に取り組んだ。

9 令和3年度 講座等実施状況

(1) 展示

ア ものづくりギャラリー展示

テーマ	内容	開催期間
県立川崎図書館の本で作ってみよう	当館が所蔵する「ものづくり」関連資料を使って作成した建築模型やラズベリーパイ（小型コンピューター）を用いた工作などを資料とともに展示した。展示の内容は当館のホームページにも掲載した。	令和2年度 12月11日(金) ～ 5月13日(木)
新型コロナウイルスと技術	当館で所蔵している雑誌に取り上げられている、リモートワークや飛沫シミュレーションなど、コロナ対策に技術の面でアプローチした記事を紹介した。	5月14日(金) ～ 10月2日(土)
川崎図書館の資料で見るSDGs	SDGs（持続可能な開発目標）に掲げられた17のゴールのうち、当館と関連の深いテーマを3期に分けて取り上げ、工学や技術の面から書かれている所蔵資料を紹介した。	10月5日(火) ～ 令和4年度 4月13日(水)

イ ものづくり入門コーナー・公開書架（低書架）での展示

テーマ	展示期間
藤嶋昭氏と光触媒	通年
追悼 赤崎勇氏	4月9日(金)～4月23日(金)
4月26日は知的所有権の日	4月9日(金)～4月28日(水)
おいしいものづくり	4月9日(金)～5月12日(水)
川崎市立図書館をご紹介	4月9日(金)～5月31日(月)
工業デザインの世界（低書架）	4月9日(金)～10月13日(水)
星出さん宇宙へ	4月23日(金)～5月7日(金)
乳酸菌と免疫機能	4月28日(水)～5月13日(木)
愛鳥週間	5月7日(金)～5月21日(金)
たてものづくり	5月12日(水)～8月7日(土)
編むと織る	5月14日(金)～5月28日(金)
香り	5月21日(金)～6月3日(木)
蝶の羽の謎	5月28日(金)～6月9日(水)
牛乳の日	6月4日(金)～6月17日(木)
元素記号	6月11日(金)～6月24日(木)
追悼 根岸英一氏	6月14日(月)～7月1日(木)
標本の作り方	6月17日(木)～7月2日(金)

ハーブ・薬用植物	6月25日(金)～7月9日(金)
7月1日は弁理士の日	7月1日(木)～8月4日(水)
伝記	7月2日(金)～7月15日(木)
カメラと写真	7月9日(金)～7月22日(木)
昆虫	7月16日(金)～7月30日(金)
星空・天体	7月23日(金)～9月8日(水)
タコの日	7月30日(金)～8月20日(金)
8月4日は橋の日	8月4日(水)～9月8日(水)
凧と風力発電	8月6日(金)～8月19日(木)
なつやすみのほん	8月7日(土)～9月8日(水)
水族館と海の生き物	8月13日(金)～8月26日(木)
防災の日	8月20日(金)～9月3日(金)
雲と空模様	8月27日(金)～9月10日(金)
下水道の日	9月3日(金)～9月17日(金)
粘菌、きのこ	9月10日(金)～9月24日(金)
科学とモノづくりを読む秋	9月10日(金)～10月6日(水)
科学の名著	9月10日(金)～10月15日(金)
サイエンスカフェの楽しみ	9月17日(金)～10月4日(月)
絶滅危惧の動物	9月24日(金)～10月8日(金)
地球×環境	10月4日(月)～10月15日(金)
ノーベル賞関連展示	10月6日(水)～11月20日(土)
建築家 隈研吾(低書架)	10月13日(水)～12月10日(金)
産業標準化推進月間	10月15日(金)～11月5日(金)
環境という複雑系	10月15日(金)～11月29日(月)
紅葉・実りの秋	11月5日(金)～11月26日(金)
宇宙飛行士 求人情報	11月20日(土)～12月15日(水)
暦	11月26日(金)～12月15日(水)
科学道 100冊 2021	11月29日(月)～令和4年度 5月31日(火)
LLブック(低書架)	12月10日(金)～1月18日(火)
温泉という地下水	12月15日(水)～1月6日(木)
お金のつくりかた	12月16日(木)～1月6日(木)
雪	1月6日(木)～3月26日(土)

ドミトリーともきんすの住人たち（低書架）	1月18日（火）～ 開催中※
脳・からだのふしぎ	2月8日（火）～ 令和4年度 4月8日（金）
理化学研究所	3月26日（土）～ 令和4年度 6月7日（火）

※ 令和4年8月時点

ウ 社史コーナー展示

テーマ	展示期間
グッドデザイン賞と社史	4月23日（金）～ 10月22日（金）
木材利用推進月間	10月22日（金）～ 1月6日（木）
謹賀新年 寅の社史	1月6日（木）～ 3月8日（火）
社史で読む渋沢栄一 銀行編	3月8日（火）～ 令和4年度 8月10日（水）

エ 社史フェア【オンライン開催】

開催期間	テーマ等	アクセス数
12月27日（月） ～ 3月28日（月）	社史フェア 2021 2020年刊行の社史 200点の展示写真と簡単な解説を掲載。 2019年刊行の社史 275点の簡単な解説を掲載する「幻の社史フェア」も同時に掲載。	944件

（2） 講演会等 （※「延期」は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策による）

ア 文字・活字文化の日記念講演会【オンライン開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
11月2日（火） 17:00～18:30	環境という複雑系～ヒトと生命の成長・学習・研究環境～ 講師：菊地 淳 氏 （（国研）理化学研究所 環境資源科学研究センター 環境代謝分析研究チーム チームリーダー）	8人

イ 大人の理科教室【会場開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
2月12日（土） 13:30～15:00	逆立ちコマをつくろう 講師：山田 喜代信 氏（（特非）NPO ブルーアース）	10人

ウ オンラインミニレクチャー【オンライン開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
1月28日（金） 14:00～14:30	【第1回】JP-NET を利用した調査方法～子どもの疑問の答えを特許から見つける～ 講師：福本 悠斗 氏（日本パテントデータサービス(株)）	14人

2月4日(金) 14:00～14:30	【第2回】JP-NET を利用した調査方法～日常に潜む疑問の 答えを特許から見つける～ 講師：福本 悠斗 氏 (日本パテントデータサービス(株))	19人
2月17日(木) 14:00～14:30	【第3回】Scopus で研究論文を調べる～ノーベル賞受賞研 究やコロナウイルス関連ニュースを例に科学情報の信頼性 を考える～ 講師：佐藤 慎祐 氏 (エルゼビア・ジャパン(株))	17人
2月24日(木) 14:00～14:30	【第4回】県立川崎図書館での資料検索～図書、雑誌、規 格～ 講師：廣瀬 洋 (川崎図書館)	14人
計		64人

エ 図書館で学ぶ知的財産講座－弁理士と共に学ぶ初心者向け知財－【会場開催】

(共催：日本弁理士会関東会、KISTEC、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
4月17日(土) 14:00～15:00	【第3回】中小企業・中小ベンチャー企業における特許力 強化 講師：西山 恵三 氏 (弁理士)	4人
6月19日(土) 14:00～15:00	【第4回】知っておきたい著作権の基礎知識～デジタルネ ットワーク時代に対応するために～ 講師：高原 千鶴子 氏 (弁理士)	16人
計		20人

オ 図書館で学ぶ知的財産講座－弁理士と共に学ぶ知財基礎セミナー－

【会場＋オンライン開催】

(共催：日本弁理士会関東会、KISTEC、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
11月4日(木) 14:00～15:00	【第1回】J-PlatPat を用いた特許・意匠・商標の調査 講師：金子 正彦 氏 (弁理士)	48人
12月16日(木) 14:00～15:00	【第2回】身近にあふれる商標あれこれ 商標権の知って おきたい3つのポイント 講師：栗田 由貴子 氏 (弁理士)	37人
2月8日(火) 14:00～15:00	【第3回】特許とするために必要なアイデアの新しさ－新 規性・進歩性とは－ 講師：高木 康志 氏 (弁理士)	54人
3月8日(火) 14:00～15:00	【第4回】そうか、こうやれば知財がビジネスに役立つ 講師：乙部 孝 氏 (弁理士)	37人
計		176人

カ 知財セミナー【会場＋オンライン開催】

(主催：KISTEC 共催：当館、(株)ケイエスピー)

開催日時	テーマ等	参加人数
12月21日(火) 13:40～16:30	意匠登録のための手続き実務～出願から登録まで～ 講師：青木 博通 氏 (ユアサハラ法律特許事務所パートナー・弁理士)	23人

キ 知的財産活用普及啓発セミナー事業【オンライン開催】

(共催：関東経済産業局、神奈川県、KISTEC、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
1月14日(金) 14:00～16:00	産業のIoT化と知的財産調査のポイント 講師：酒井 美里 氏 (スマートワークス(株)代表取締役)	97人

ク 企業関係者と弁理士の知財研究会 (日本弁理士会関東会との連携事業)

【会場＋オンライン開催】

開催日時	テーマ等	参加人数
5月27日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	機能的クレーム① (主に権利取得段階) 司会・進行：保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	①6人 ②7人
7月29日(木) ①15:30～17:00 ②17:20～18:50	機能的クレーム② (主に権利行使段階) 司会・進行：保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	①5人 ②6人
9月16日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	中小企業庁の『知的財産取引に関するガイドライン・契約書のひな形』(2021年3月31日)を、企業関係者・弁理士・弁護士がそれぞれの視点で読む 司会・進行：保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	中止 テーマは 11月25日(木) に延期
11月25日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	中小企業庁の『知的財産取引に関するガイドライン・契約書のひな形』(2021年3月31日)を、企業関係者・弁理士・弁護士がそれぞれの視点で読む 司会・進行：保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	①8人 ②4人
1月27日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	発明のとらえ方 司会・進行：保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	①4人 ②7人
3月3日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	よい明細書とは 司会・進行：保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	①5人 ②6人
	計	58人

事業統計
(令和3年度)

第1表 部門別蔵書冊数

区 分	3年度当初冊数	受 入						払 出	分類変更 配架変更	差 引 増 減	3 年 度 末 冊 数	分類別 比率(%)
		購 入	寄 贈	管理換	編 入	その他	小 計					
0 総 記	15,027	45	30	0	0	0	75	2,527	0	-2,452	12,575	4.9%
1 哲 学	309	0	1	0	0	0	1	72	0	-71	238	0.1%
2 歴 史	5,689	3	6	0	0	0	9	276	1	-266	5,423	2.1%
3 社 会 学 科	12,756	3	42	0	0	0	45	12	5	38	12,794	4.9%
4 自 然 学 科	53,868	113	101	0	0	2	216	360	-1	-145	53,723	20.7%
5 技 術 ・ 工 学	117,706	256	314	0	0	2	572	187	-1	384	118,090	45.6%
6 産 業	14,349	8	35	0	0	1	44	16	2	30	14,379	5.5%
7 芸 術 ・ 美 術	452	0	18	0	0	0	18	4	0	14	466	0.2%
8 言 語	388	0	1	0	0	0	1	0	0	1	389	0.2%
9 文 学	2,493	0	0	0	0	0	0	489	0	-489	2,004	0.8%
社 史 等	20,480	6	538	0	0	1	545	1	-8	536	21,016	8.1%
規 格	7,438	30	20	0	0	0	50	0	2	52	7,490	2.9%
児 童 書	10,492	0	0	0	0	0	0	3	0	-3	10,489	4.0%
合 計	261,447	464	1,106	0	0	6	1,576	3,947	0	-2,371	259,076	100.0%
洋 書	(6,375)	(0)	(13)	(0)	(0)	(0)	(13)	(5)	(0)	(8)	(6,383)	(2.5%)

※洋書は()に内数で記入

第2表 逐次刊行物保有状況

ア. 雑 誌

2年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	3年度末タイトル数	うち継続収集		
					購 入	寄贈(会費 負担)	寄 贈
8,051	18	7	11	8,062	344	90	714
(2,192)	(0)	(0)	(0)	(2,192)	(2)	(0)	(49)

※外国語雑誌は()に内数で記入

イ. 新 聞

2年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	3年度末タイトル数	うち継続収集	
					購 入	寄 贈
33	1	0	1	34	6	21

第3表 電子ジャーナル等資料の保有状況

ア. 電子ジャーナル・データベース

		契約数	内 訳
国 内		21	土木学会論文集、電子情報通信学会論文誌A,B,C,D、BIO INDUSTRY、情報処理学会論文誌、情報処理学会研究報告、日本金属学会講演概要集(講演論文集)、JdreamⅢ、JP-NET、CINii、日経テレコン、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、電子情報通信学会技術研究報告(通信ソサイエティ情報・システムソサイエティ基礎・境界ソサイエティ/NOLTAソサイエティ、エレクトロニクスソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)、地盤工学会誌、自動車技術学会学術講演会公演予稿集(講演論文集)
海 外		2	Scopus(検索機能部分のみ)、Taylor & Francis(契約無料)

イ. 視 聴 覚 資 料

区 分	2年度末数	受 入					払 出	3年度末数
		購入	寄贈	管理換	その他	計		
個 人 貸 出 用	229	0	0	0	0	0	0	229
団 体 貸 出 用	357	0	1	0	0	1	0	358
合 計	586	0	1	0	0	1	0	587

ウ. C D - R O M

区 分	2年度末数	受 入	払 出	3年度末数
規 格 ・ 特 許 関 連	36	0	0	36
新 聞	1	0	0	1
科 学 技 術 文 献 速 報	12	0	0	12
計	49	0	0	49

第6表 書庫内資料の利用数

ア. K S P 書庫

区 分	月 別 3 4	年			年			年			年			合 計
		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
総 数		2,523	1,735	2,105	1,731	2,058	1,978	1,686	2,651	2,696	2,414	2,221	2,374	26,172
1 (日 平 均) (開 館 日)		100.9	69.4	84.2	66.6	82.3	79.1	67.4	106.0	117.2	109.7	96.6	91.3	88.7
内 訳	図 書	31	27	9	36	49	29	30	29	19	25	14	20	318
	雑 誌	2,391	1,581	1,940	1,500	1,801	1,643	1,463	2,406	2,396	2,090	1,978	2,088	23,277
	外 国 語 雑 誌	(22)	(27)	(45)	(115)	(10)	(94)	(9)	(12)	(20)	(117)	(56)	(11)	(538)
	新 聞	29	47	26	54	67	111	52	30	90	87	47	57	697
	付 録 電 子 媒 体 等	72	80	130	141	141	195	141	186	191	212	182	209	1,880
前 年 度 総 数		338	333	2,765	2,794	3,120	2,715	2,608	3,223	2,424	2,375	2,849	3,206	28,750

※外国語雑誌は()に内数で記入

イ. 相模原書庫

区 分	月 別 3 4	年			年			年			年			合 計
		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
取 寄 冊 数		295	323	337	358	349	329	379	392	303	363	271	338	4,037
1 (日 平 均) (開 館 日)		11.8	12.9	13.5	13.8	14.0	13.2	15.2	15.7	13.2	16.5	11.8	13.0	13.7
前 年 度 総 数		104	88	359	349	323	389	350	269	270	246	302	240	3,289

ウ. 野庭収蔵庫

区 分	月 別 3 4	年			年			年			年			合 計
		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
取 寄 冊 数		106	64	48	63	84	41	255	72	33	55	78	78	977
内 訳	外 国 語 雑 誌	56	22	10	17	14	6	20	27	6	35	47	44	304
	和 雑 誌	4	3	0	0	2	1	182	5	2	5	3	2	209
	図 書	46	39	38	46	68	34	53	40	25	15	28	32	464
複 写 枚 数		90	47	30	70	49	35	56	69	37	44	109	256	892
内 訳	外 国 語 雑 誌	83	37	18	70	19	32	50	66	24	39	101	237	776
	和 雑 誌	7	10	12	0	6	3	6	1	10	5	8	19	87
	図 書	0	0	0	0	24	0	0	2	3	0	0	0	29
前 年 度	取 寄 冊 数	30	35	75	161	140	92	84	67	164	99	71	65	1,083
	複 写 枚 数	78	10	143	82	48	120	196	60	76	127	106	60	1,106

エ. 総 数

区 分	月 別 3 4	年			年			年			年			合 計
		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
冊 数		2,924	2,122	2,490	2,152	2,491	2,348	2,320	3,115	3,032	2,832	2,570	2,790	31,186

第7表 電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数

ア. 人数等

区分	月別	3年												合計	前年度末
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
国内学会誌	利用人数	47	32	46	46	33	35	43	33	39	42	38	48	482	532
	複写枚数	320	278	400	472	378	215	253	246	319	33	343	469	3,726	4,184
Taylor & Francis	利用人数	0	0	1	1	0	1	2	0	0	2	0	1	8	2
	複写枚数	0	0	0	0	0	13	7	0	0	0	0	2	22	0
Scopus	利用人数	4	8	4	4	0	2	2	1	0	2	1	8	36	80
	複写枚数	32	145	19	51	0	14	26	0	0	1	10	159	457	2,421
J DreamIII	利用人数	4	4	9	7	6	4	5	8	5	4	3	4	63	70
	複写枚数	95	29	149	114	30	69	87	261	137	1	60	19	1,051	687
CiNii	利用人数	20	22	29	18	15	12	16	15	17	16	13	17	210	261
	複写枚数	47	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	54	457
JP-NET	利用人数	2	2	2	1	2	6	7	7	7	3	3	5	47	19
	複写枚数	0	3	8	0	53	97	506	64	24	2	38	73	868	1,693
J-PlatPat	利用人数	1	3	0	4	1	6	8	6	6	1	0	3	39	19
	複写枚数	0	3	0	100	24	44	46	115	32	0	0	39	403	113
日経テレコン21	利用人数	5	6	4	2	4	8	3	4	7	3	2	3	51	52
	複写枚数	27	18	7	0	11	39	7	22	19	1	8	11	170	425
国会デジタル	利用人数	3	10	10	6	4	3	12	4	5	4	2	5	68	86
	複写枚数	12	81	0	7	41	0	84	17	0	0	22	2	266	698
その他	利用人数	17	16	18	14	13	11	11	16	14	16	13	16	175	192
	複写枚数	102	0	20	175	0	0	5	7	24	6	67	1	407	861
IEEE	利用人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89
	複写枚数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,096
Brand Mark Search	利用人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	複写枚数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
Innovation Q+	利用人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	複写枚数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
官報情報検索サービス	利用人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	複写枚数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
合計	利用人数	103	103	123	103	78	88	109	94	100	93	75	110	1,179	1,409
	複写枚数	635	557	603	919	542	491	1,021	732	555	46	548	775	7,424	12,663

※IEEE、Brand Mark Search、Innovation Q+、官報情報検索サービスは令和3年度休止

イ. 文献閲覧件数 (Scopus)

区分	月別	3年												合計	前年度末
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
Scopus		118	95	22	27	11	27	10	13	2	35	63	103	526	779
IEEE		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	916
合計		118	95	22	27	11	27	10	13	2	35	63	103	526	1,695

※IEEEは令和3年度休止

第8表 個人貸出登録者数

区分	2年度末	登録削除数	3年												合計	3年度末
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
登録者数	5,897	1,293	84	128	92	121	135	101	93	91	76	75	80	87	1,163	5,767

第9表 個人貸出冊数

区分	月別 3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年			合計	分類別 比率(%)	前年度 貸出冊数	
										1月	2月	3月				
貸出冊数	1,929	2,203	2,036	2,399	1,972	2,024	1,950	1,781	1,736	1,966	1,826	1,999	23,821	100%	22,018	
1日平均 (開館日)	77.2	88.1	81.4	92.3	78.9	81.0	78.0	71.2	75.5	89.4	79.4	76.9	80.7	-	75.1	
内 部 訳 別	一般図書	1,844	2,075	1,881	2,243	1,838	1,913	1,831	1,719	1,687	1,898	1,754	1,911	22,594	94.9%	20,858
	0 総記	163	200	184	168	142	142	185	170	162	181	150	151	1,998	8.4%	1,904
	1 哲学	16	33	40	106	46	44	19	43	42	50	50	52	541	2.3%	412
	2 歴史	52	65	44	92	60	61	62	54	45	69	60	116	780	3.3%	747
	3 社会科学	109	106	97	130	105	133	131	119	143	196	165	189	1,623	6.8%	1,421
	4 自然科学	506	594	514	606	494	550	458	475	458	452	382	470	5,959	25.0%	5,678
	5 技術・工学	755	804	793	829	700	631	688	577	622	682	694	620	8,395	35.2%	8,322
	6 産業	55	69	48	91	78	59	61	45	52	45	58	44	705	3.0%	643
	7 芸術・美術	105	121	81	104	105	141	108	101	60	107	89	126	1,248	5.2%	952
	8 言語	5	5	7	8	12	10	6	16	14	18	19	19	139	0.6%	84
9 文学	78	78	73	109	96	142	113	119	89	98	87	124	1,206	5.1%	695	
社史等	85	128	155	156	134	111	119	62	49	68	72	88	1,227	5.1%	1,160	
前年度貸出冊数	804	306	1,944	2,229	2,403	2,190	2,443	1,981	2,076	2,053	2,050	1,539	22,018	-	-	
前年度1日平均	32.2	12.8	77.8	85.7	96.1	87.6	94.0	82.5	90.3	93.3	89.1	61.6	75.1	-	-	

第10表 リクエストサービス

区分	月別 3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年			合計	比率(%)	
										1月	2月	3月			
総数	501	731	638	732	772	760	875	805	695	835	797	929	9,070	100%	
内 訳 別	自然科学	111	128	98	100	119	119	157	180	120	149	106	144	1,531	16.9%
	工学・産業	171	288	224	257	259	199	323	219	200	214	250	222	2,826	31.2%
	社会・人文科学	214	303	303	369	371	433	381	399	372	458	440	558	4,601	50.7%
	社史等	5	12	13	6	23	9	14	7	3	14	1	5	112	1.2%
内 訳 別	返却待	211	338	257	271	336	280	426	340	260	326	254	256	3,555	39.2%
	購入	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.1%
	他館から借受	217	327	342	398	373	416	391	403	362	444	454	580	4,707	51.9%
	(県立)	(206)	(293)	(295)	(351)	(340)	(363)	(347)	(359)	(327)	(415)	(406)	(539)	(4,241)	(46.8%)
	(市町村)	(9)	(28)	(40)	(40)	(26)	(35)	(33)	(35)	(27)	(23)	(33)	(30)	(359)	(4.0%)
	(県内機関その他)	(0)	(3)	(0)	(3)	(3)	(13)	(5)	(3)	(4)	(4)	(10)	(1)	(49)	(0.5%)
	(県外)	(2)	(3)	(7)	(4)	(4)	(5)	(6)	(6)	(4)	(2)	(5)	(10)	(58)	(0.6%)
取消等	73	65	39	63	63	64	58	62	72	65	89	93	806	8.8%	
前年度総数	441	264	988	723	722	732	827	575	696	640	735	493	7,836	-	

※()は内数

第11表 複写サービス

区分	月別	3年												4年			合計	比率(%)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
総数	人数	209	257	218	238	237	204	264	274	245	249	233	249	2877	100%			
	枚数	6,986	8,901	8,867	9,566	9,870	8,494	9,073	9,816	10,778	10,248	10,305	10,612	113,516	100%			
1日平均 (開館日)	人数	8.4	10.3	8.7	9.2	9.5	8.2	10.6	11.0	10.7	11.3	10.1	9.6	9.8	-			
	枚数	279.4	356.0	354.7	367.9	394.8	339.8	362.9	392.6	468.6	465.8	448.0	408.2	384.8	-			
内訳	コイン式 コピー	人数	143	187	144	183	169	140	178	184	166	180	170	177	2,021	70.3%		
		枚数	5,941	7,832	7,631	8,356	8,501	7,464	7,303	8,431	9,567	8,421	8,921	9,345	97,713	86.1%		
	データベース 等	人数	43	38	43	31	35	43	45	45	39	38	35	45	480	16.7%		
		枚数	783	656	982	955	836	743	1,087	964	911	1,011	793	995	10,716	9.4%		
	国 際 会 社 等	人数	1	3	0	1	1	0	4	1	0	0	2	1	14	0.5%		
		枚数	12	81	0	7	41	0	84	17	0	0	22	2	266	0.2%		
	郵 送	人数	22	29	30	23	31	21	37	43	40	30	26	26	358	12.4%		
		枚数	250	332	249	248	488	287	599	401	300	812	569	270	4,805	4.2%		
	ファクシミリ	人数	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	4	0.1%		
		枚数	0	0	5	0	4	0	0	3	0	4	0	0	16	0.1%		
	前年度総数	人数	58	49	264	288	326	316	331	281	278	245	254	231	2,921	-		
		枚数	1,469	1,761	10,863	12,552	11,523	13,493	12,401	12,116	12,128	10,760	10,829	12,040	121,935	-		

※データベース等の数はオンライン、CD-ROM資料のプリンター出力による複写申込人数及び枚数

第12表 講習会・講座・講演会等

区分	月別	3年												4年			合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
開催回数		1	1	1	1	0	0	0	3	2	3	5	2	19			
参加人数		4	13	16	11	0	0	0	68	60	122	114	48	456			
前年度	実施回数	0	0	0	0	0	2	8	4	3	1	0	0	18			
	参加人数	0	0	0	0	0	16	82	60	33	20	0	0	211			

※参加人数は保護者を含めた数字

第13表 知的財産関連等相談

ア. 知財総合支援相談

区分	月別 3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年			合計	
		1月	2月	3月	1月	2月	3月							
開催回数	1	2	2	2	2	0	0	0	1	2	1	2	15	
実施回数	1	0	0	1	2	0	0	0	1	2	1	0	8	
利用者数	1	0	0	1	5	0	0	0	2	2	2	0	13	
相談件数	1	0	0	2	5	0	0	0	2	2	2	0	14	
内訳	特許・実用新案	0	0	0	1	3	0	0	0	1	1	0	0	6
	意匠・商標	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	6
	分類・調査・制度他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
前年度開催数	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0	8	
前年度実施回数	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3	
前年度利用者数	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4	
前年度相談件数	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4	

※実施回数は開催回数のうち、実際に相談があった日数

イ. 創業・経営相談

区分	月別 3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年			合計
		1月	2月	3月	1月	2月	3月						
開催回数	2	2	2	2	2	0	0	2	2	2	2	2	20
実施回数	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	2	9
利用者数	2	0	1	0	2	0	0	1	2	0	1	2	11
相談件数	2	0	1	0	2	0	0	1	2	0	1	2	11
前年度開催数	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	14
前年度実施回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
前年度利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
前年度相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4

ウ. 知的財産相談

区分	月別 3年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年			合計
		1月	2月	3月	1月	2月	3月						
開催回数	1	2	2	1	2	0	0	2	2	2	1	2	17
実施回数	0	0	2	0	1	0	0	1	0	1	0	1	6
利用者数	0	0	3	0	2	0	0	1	0	2	0	2	10
相談件数	0	0	4	0	2	0	0	1	0	2	0	2	11
内訳	特許・実用新案	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	5
	意匠・商標	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	4
	分類・調査・制度他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
前年度開催数	0	0	0	0	0	2	2	2	2	1	0	0	9
前年度実施回数	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	4
前年度利用者数	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	5
前年度相談件数	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	5

第 16 表 年度別蔵書冊数

	蔵書冊数	増減
昭和 33 年度	16,075	—
34	28,090	12,015
35	36,789	8,699
36	44,682	7,893
37	53,486	8,804
38	63,876	10,390
39	71,711	7,835
40	79,701	7,990
41	89,317	9,616
42	99,497	10,180
43	109,870	10,373
44	120,816	10,946
45	137,375	16,559
46	152,181	14,806
47	166,087	13,906
48	182,152	16,065
49	199,488	17,336
50	209,336	9,848
51	218,928	9,592
52	229,077	10,149
53	238,809	9,732
54	235,621	△ 3,188
55	232,394	△ 3,227
56	233,064	670
57	226,921	△ 6,143
58	228,885	1,964
59	228,108	△ 777
60	221,650	△ 6,458
61	220,327	△ 1,323
62	217,371	△ 2,956
63	215,189	△ 2,182
平成 元 年度	218,584	3,395
2	223,071	4,487
3	234,166	11,095
4	244,658	10,492
5	251,381	6,723
6	256,398	5,017
7	250,362	△ 6,036
8	242,713	△ 7,649
9	190,111	△ 52,602
10	191,949	1,838
11	195,731	3,782
12	201,259	5,528
13	206,840	5,581
14	211,853	5,013
15	217,546	5,693
16	223,151	5,605
17	224,615	1,464
18	231,386	6,771
19	233,312	1,926
20	236,900	3,588
21	241,823	4,923
22	245,994	4,171
23	246,191	197
24	249,666	3,475
25	252,734	3,068
26	255,368	2,634
27	258,799	3,431
28	260,640	1,841
29	258,837	△ 1,803
30	260,656	1,819
令和 元 年度	260,103	△ 553
2	261,447	1,344
3	259,076	△ 2,371

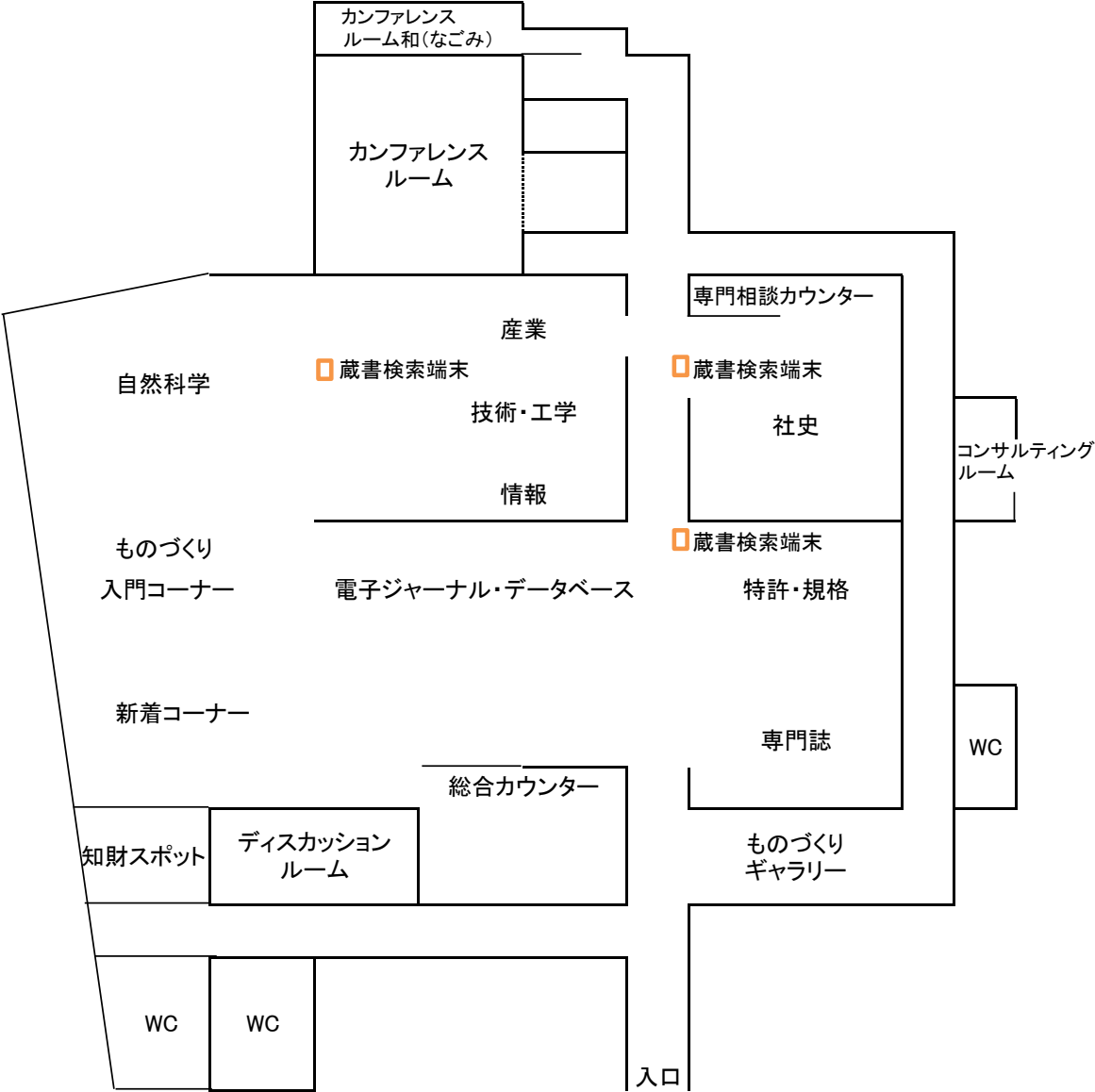
第 17 表 年度別入館者数・個人貸出冊数

	開館日数	入館者数	貸出冊数
昭和 33 年度	63	27,488	—
34	278	142,623	2,068
35	277	120,484	28,196
36	253	129,667	26,309
37	275	163,146	34,424
38	275	162,612	31,530
39	277	155,305	29,810
40	276	155,298	33,868
41	270	150,743	35,873
42	272	142,266	30,722
43	269	132,809	31,591
44	271	137,863	40,312
45	260	127,299	45,406
46	260	142,256	56,913
47	271	157,499	72,217
48	271	150,620	81,218
49	270	159,838	93,715
50	272	168,383	108,517
51	270	159,802	107,627
52	271	158,010	113,604
53	271	168,196	102,747
54	271	154,982	88,085
55	271	135,158	88,376
56	255	133,192	89,106
57	251	120,037	91,691
58	272	189,379	144,147
59	271	212,619	150,051
60	259 (134)	139,462 (27,648)	103,860 (36,670)
61	284	206,834	134,555
62	273	184,991	130,342
63	270	170,319	125,356
平成 元 年度	260	208,760	125,144
2	269	220,182	131,067
3	271	226,191	143,782
4	271	245,524	152,221
5	269	251,552	144,381
6	269	255,704	134,407
7	270	222,138	85,679
8	268	203,885	72,182
9	202	146,654	41,063
10	270	143,044	26,077
11	258	138,204	24,459
12	280	136,643	32,621
13	282	142,925	33,040
14	282	147,532	35,432
15	284	140,533	34,589
16	284	133,195	29,974
17	284	184,493	30,331
18	289	206,364	37,178
19	290	192,762	40,594
20	296	212,930	43,926
21	296	229,150	47,794
22	291	215,929	47,324
23	294	205,122	48,646
24	296	195,413	47,838
25	297	184,050	46,631
26	296	162,915	41,244
27	293	154,234	36,921
28	295	148,886	34,694
29	198	88,010	16,795
30	259	68,892	22,461
令和 元 年度	290	83,244	25,344
2	257	51,845	22,018
3	295	70,416	23,821

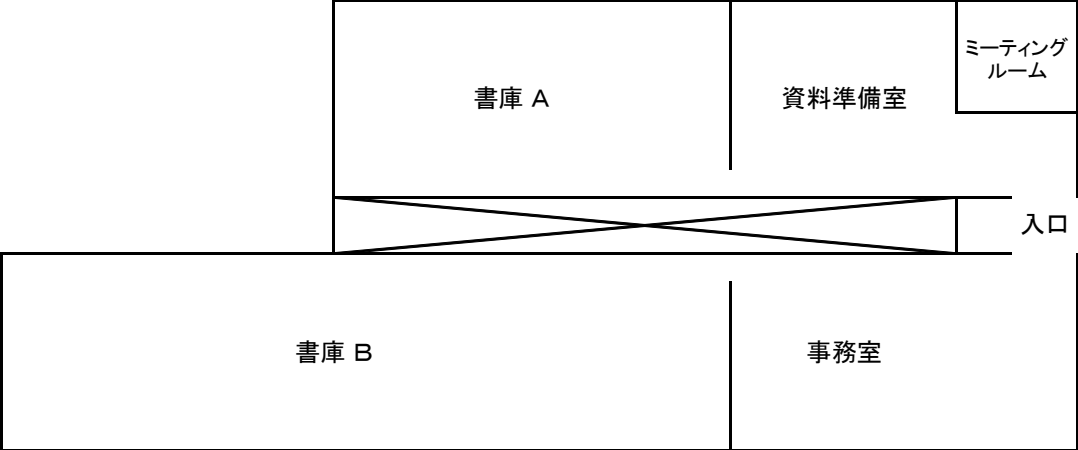
- ・昭和60年度仮設図書館における開館日数、貸出冊数は()内に内数で記入
- ・平成9年度は、リニューアルのため12月から一部休館。1月から全面休館
- ・平成29年度は、KSPへの移転のため、10月から一部休館、12月から全面休館
- ・平成30年度は、KSPにおける開館準備のため5月中旬まで休館
- ・令和元年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため3月4日から一部サービス休止

館内案内図

○図書館(西棟2階)



○書庫・事務室(R&D棟2階)





電車 JR南武線「武蔵溝ノ口」駅 / 東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅下車
徒歩15分

バス ①KSPシャトルバス（平日：午前10時以降、土祝休日：始発から）
溝の口駅 北口バスターミナル9番乗り場から「KSP行き」（直通）約5分

②市営バス
溝の口駅前 北口バスターミナル7番乗り場から
溝04系統、溝06系統、溝15系統、溝18系統 いずれも「高津中学校入口」
下車徒歩1分

令和4年度

神奈川県立川崎図書館要覧

令和4年9月発行

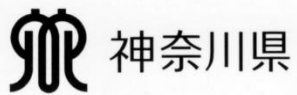
編集・発行 神奈川県立川崎図書館

館長 鈴木 豊

川崎市高津区坂戸3丁目2番1号

電話 (044) 299 - 7825 (代表)

F A X (044) 322 - 8878



神奈川県立川崎図書館

川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP R&D 棟 C-225 〒213-0012 電話 (044) 299-7825 (代表)